

宇和島市
人権に関する市民意識調査
報告書
—概要版—



平成 25 年 3 月

宇和島市

1. 調査概要

(1) 調査目的

宇和島市では、互いの人権が尊重される社会づくりをめざし、あらゆる差別や偏見を解消するためにさまざまな取組を進めており、本調査は、住民の皆さんが、日ごろ感じていることを今後の人権施策に役立てるために実施しました。

(2) 調査概要

① 調査事業の名称

下記の調査について実施しました。

「人権に関する市民意識調査」

② 調査事項

- 人権問題に関する意識や考え方について
- 女性の人権問題について
- 子どもの人権問題について
- 高齢者の人権問題について
- 障がいのある人の人権問題について
- 同和問題について
- 外国人の人権問題について
- 感染症患者などの人権問題について
- インターネット上の人権侵害について
- 災害・事故などによる風評被害の人権問題について
- 宇和島市の人権教育・啓発について

③ 調査方法・調査時期

調査票	調査対象者	調査対象人数	調査方法	調査時期
人権に関する 市民意識調査	市内在住の20歳以上の方 で無作為抽出にて選出の方	2,000人	郵送にて 配布・回収	平成24年9月

(3) 配布・回収結果

■ 配布・回収結果

単位：部

	配布部数	回収部数	回収率
人権に関する市民意識調査	2,000	1,042	52.1%

■ 配布・回収結果

単位：部

	配布部数	回収部数	回収率
男性	916	404	44.1%
女性	1,084	615	56.7%
性別不明		23	
旧宇和島市地域	1,301	660	50.7%
旧吉田町地域	268	155	57.8%
旧三間町地域	149	79	53.0%
旧津島町地域	282	127	45.0%
地域不明		21	
20歳代	167	66	39.5%
30歳代	247	100	40.5%
40歳代	265	134	50.6%
50歳代	324	194	59.9%
60歳代	410	226	55.1%
70歳以上	587	305	52.0%
年齢不明		17	

(4) グラフ・表の見方

- ① 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単純回答(回答が1つ)であっても、合計値が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答(回答が2つ以上)の場合、回答は、選択肢ごとの有効回答数に対してそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%・サンプル数を超えることがあります。
- ③ 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されなかったもの、または回答の判別が困難なものです。
- ④ 調査結果に平成19年度調査との経年比較のグラフを掲載しています。

2. 調査結果

人権問題に関する意識や考え方について

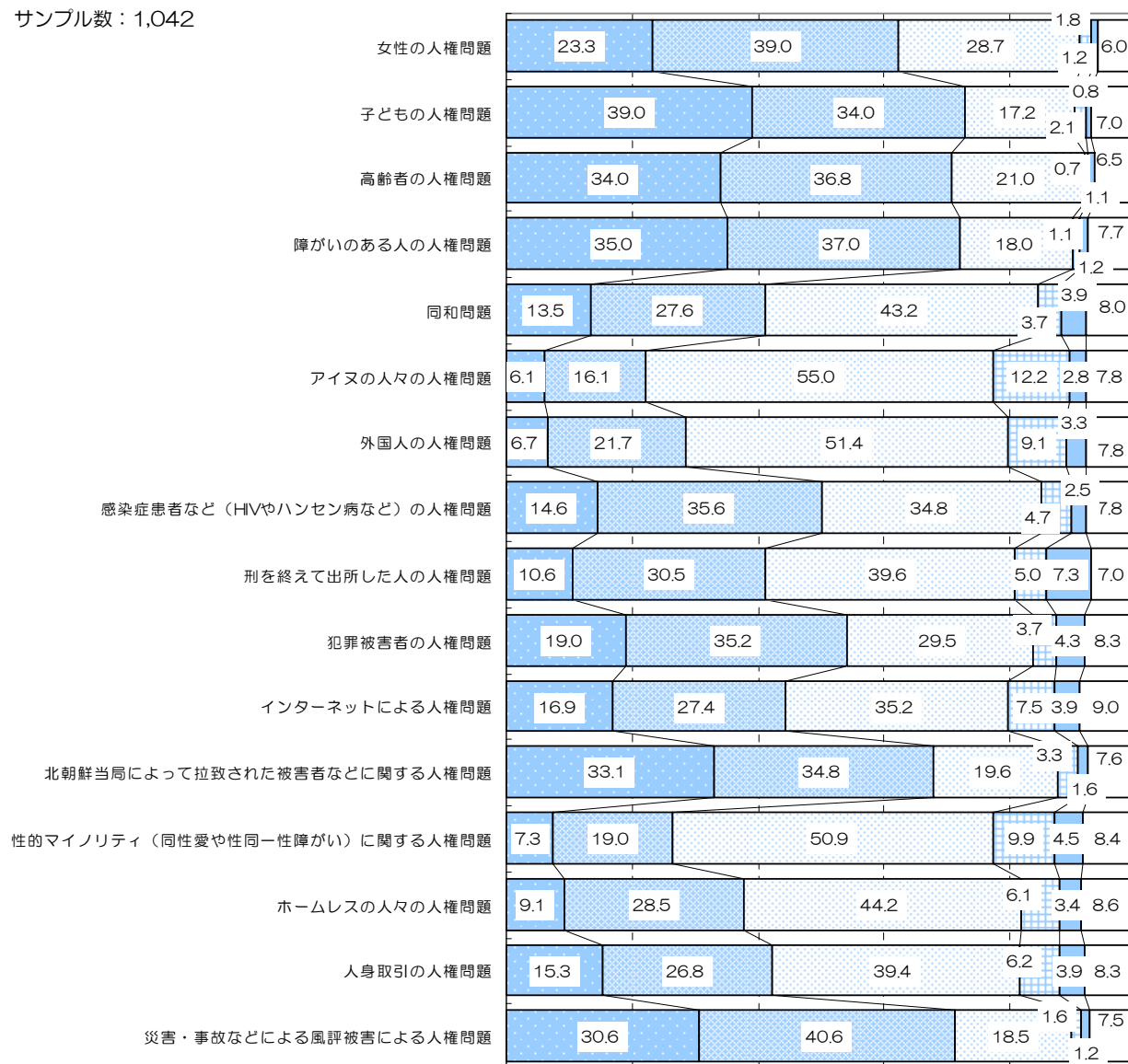
問1 人権問題に関する次のア～タについて、関心があるかないかあなたのお考えに最も近いのはどれですか。(ア～タのそれぞれについて、○は1つずつ)

子ども、高齢者、障がい者、拉致被害者、風評被害などの分野で関心が高くなっています。

単位：%

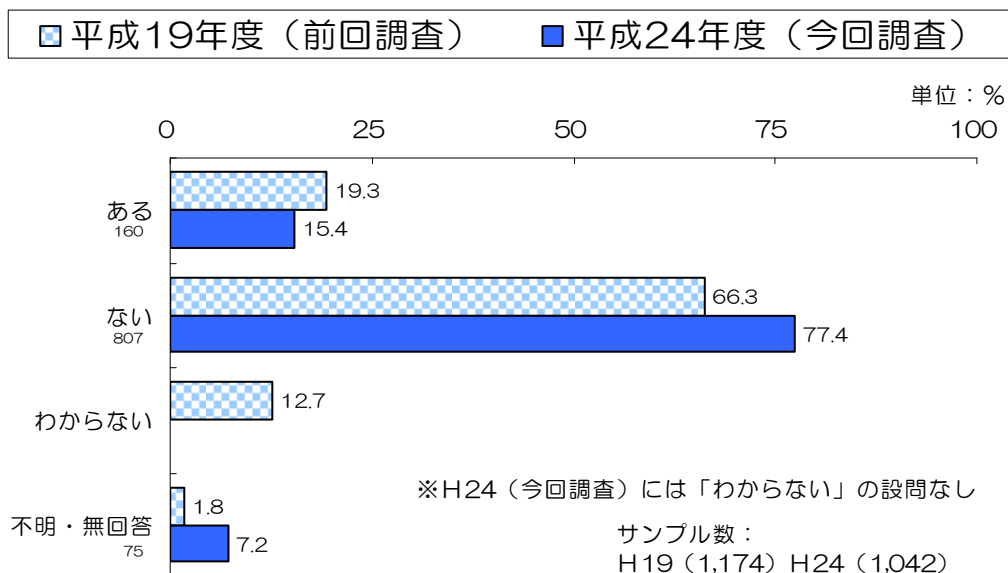
関心がある
 やや関心がある
 あまり関心がない
 自分には関係ない
 関わりたくない
 不明・無回答

サンプル数：1,042



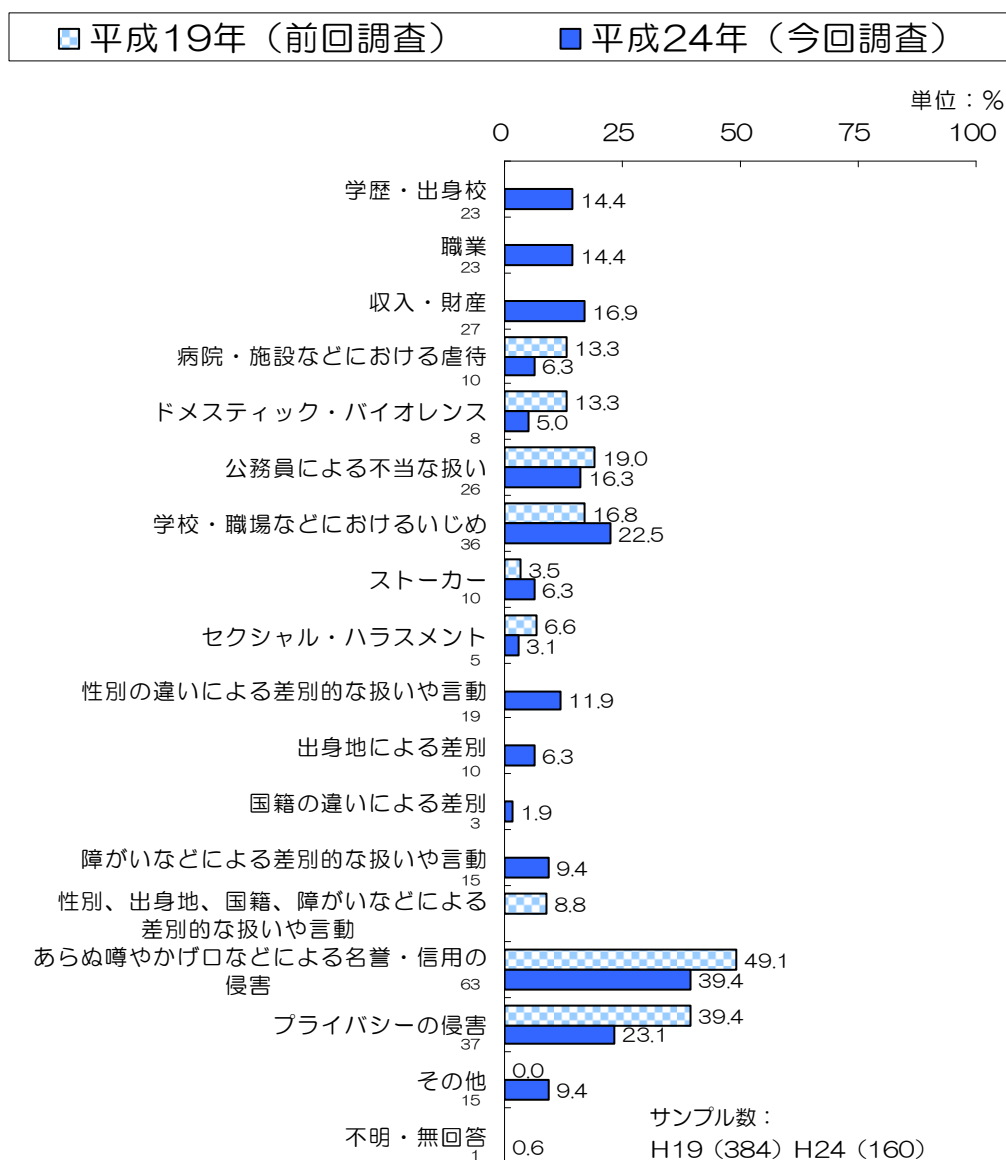
問2 あなたは、最近（過去3年程度）、自己的人権が侵害されたと思ったことはありますか。（○は1つだけ）

自己的人権が侵害されたと思ったことがあるかたずねたところ、「ある」が15.4%、「ない」が77.4%となっています。



問2-1 問2で「1. ある」と回答された方におたずねします。 その内容はどのようなものでしたか。(〇はいくつでも)

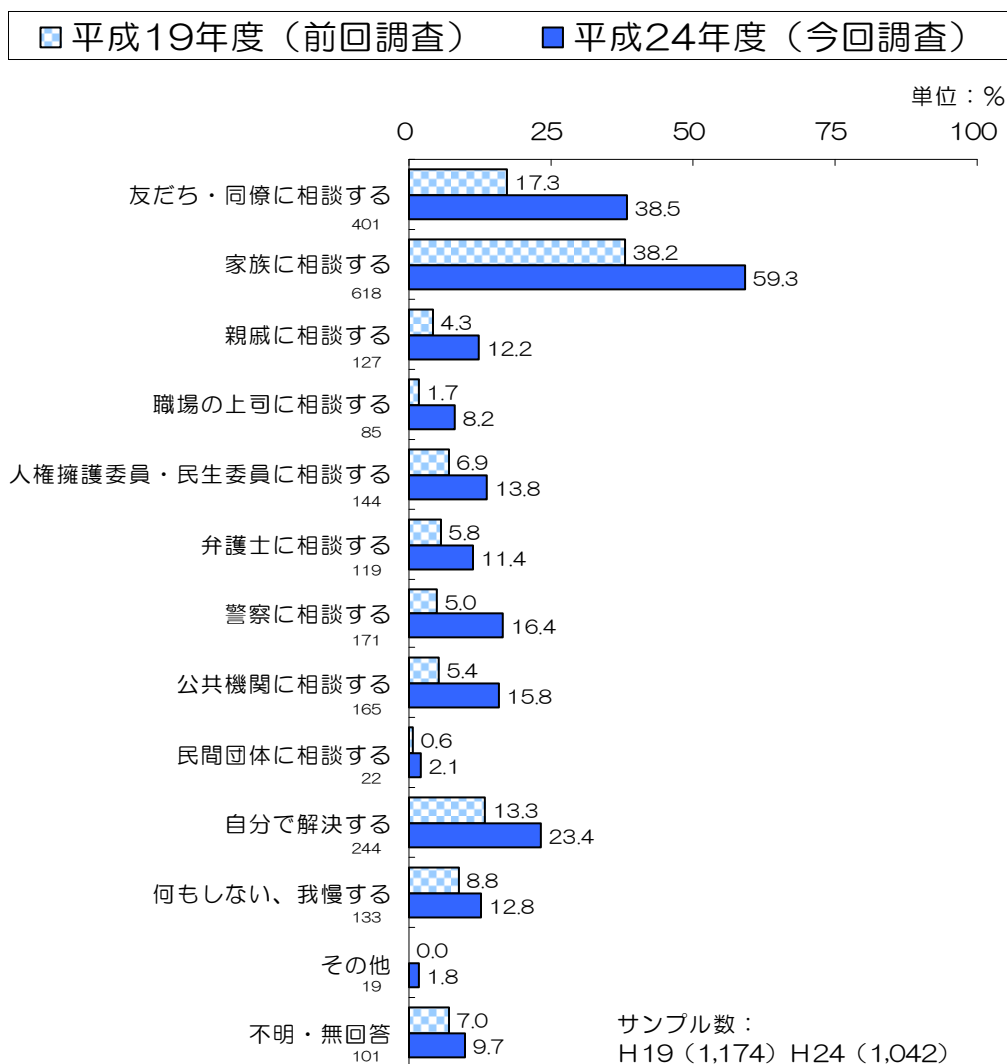
「ある」と回答された方に内容をたずねたところ、「あらぬ噂やかげ口などによる名誉・信用の侵害」が39.4%で最も多く、次いで、「プライバシーの侵害」が23.1%となっています。



※H19（前回調査）には「学歴・出身校」、「職業」、「収入・財産」、「性別の違いによる差別的な扱いや言動」、「出身地による差別」、「国籍の違いによる差別」、「障がいなどによる差別的な扱いや言動」、「不明・無回答」の設問なし、H24（今回調査）には「性別、出身地、国籍、障がいなどによる差別的な扱いや言動」の設問なし

問3 あなた自身の人権が侵害されたとき、どのような対応をしますか。または、しましたか。(〇はいくつでも)

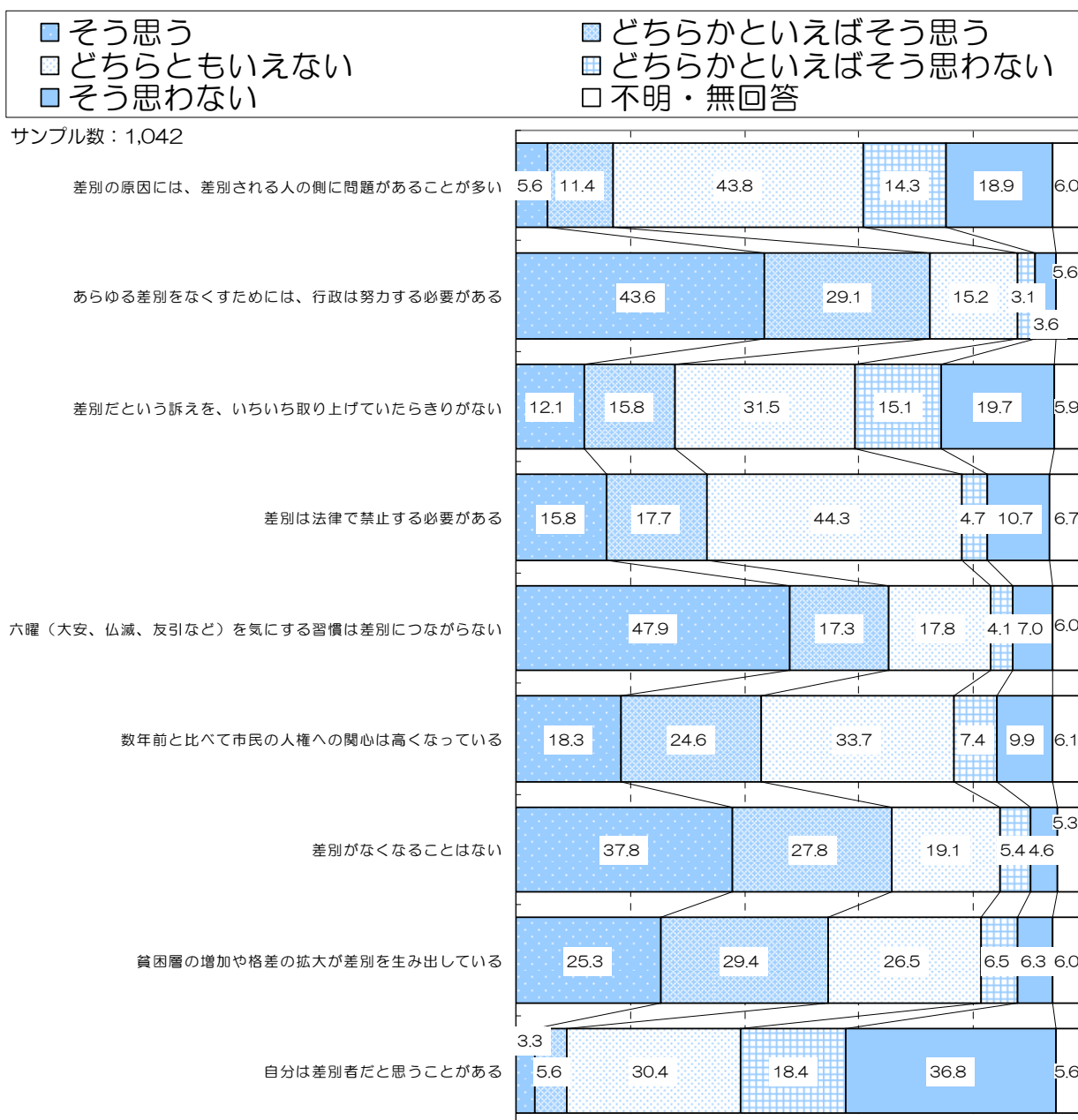
人権が侵害されたとき、どのような対応をするかたずねたところ、「家族に相談する」が59.3%で最も多く、次いで、「友だち・同僚に相談する」が38.5%となっています。



問4 一般的に「差別」というものについて、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。(ア～ケのそれぞれについて、○は1つずつ)

差別についての考えをたずねたところ、「六曜（大安、仏滅、友引など）を気にする習慣は差別につながる」という考えが多く、習慣やしきたりにおいては差別との関係性がないととらえている傾向が強くなっています。

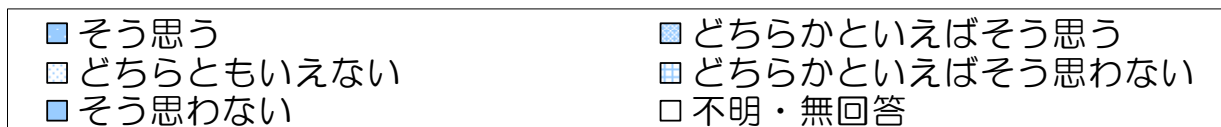
単位：%



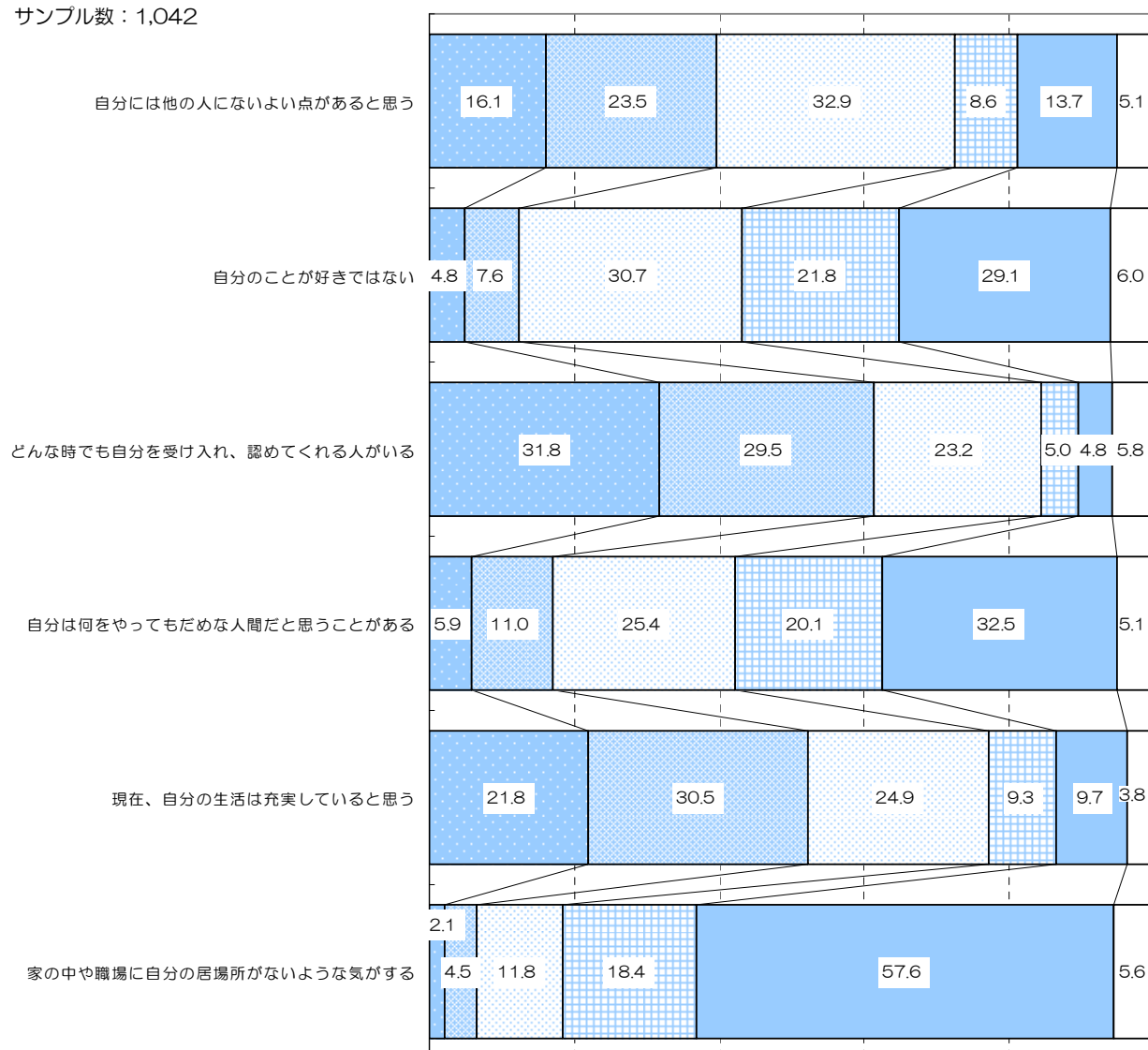
問5 あなたが、自分自身をどのように思っているかを、ありのままお答えください。(ア～カのそれぞれについて、○は1つずつ)

自分自身をどのように思っているかたずねたところ、「どんな時でも自分を受け入れ、認めてくれる人がいる」、「現在、自分の生活は充実していると思う」と考えている人が多くなっています。

単位：%



サンプル数：1,042



問6 結婚相手を考える際に、気になること（なったこと）はどのようなことですか。あなたご自身の結婚の場合と、お子さんの結婚との場合に分け、気になる項目を選んでください。お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください。（〇はいくつでも）

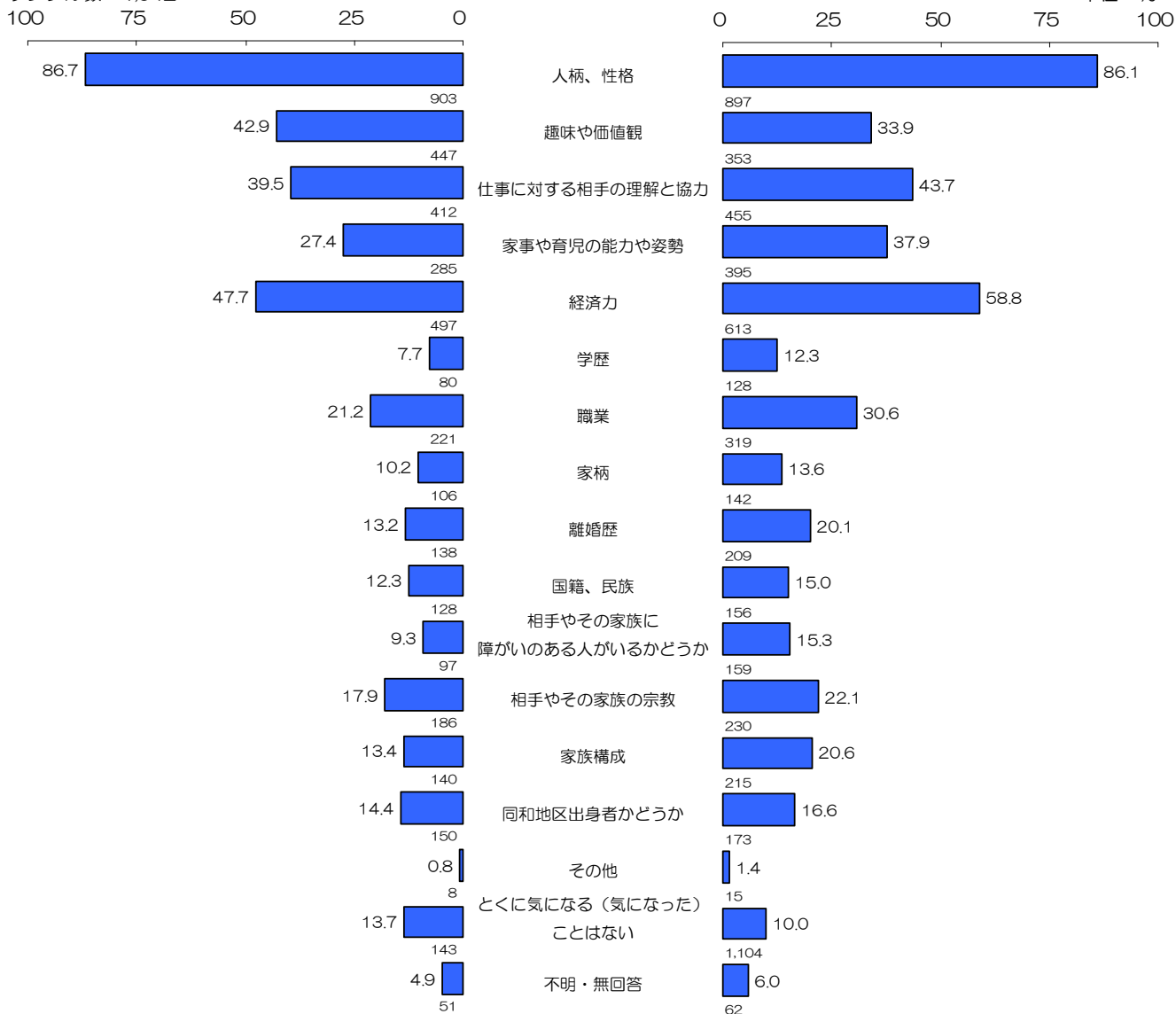
結婚相手を考える際に気になることをたずねたところ、自身の場合とお子さんの場合ともに「人柄、性格」が最も多くなっています。

■あなた自身の場合

■あなたのお子さんの場合

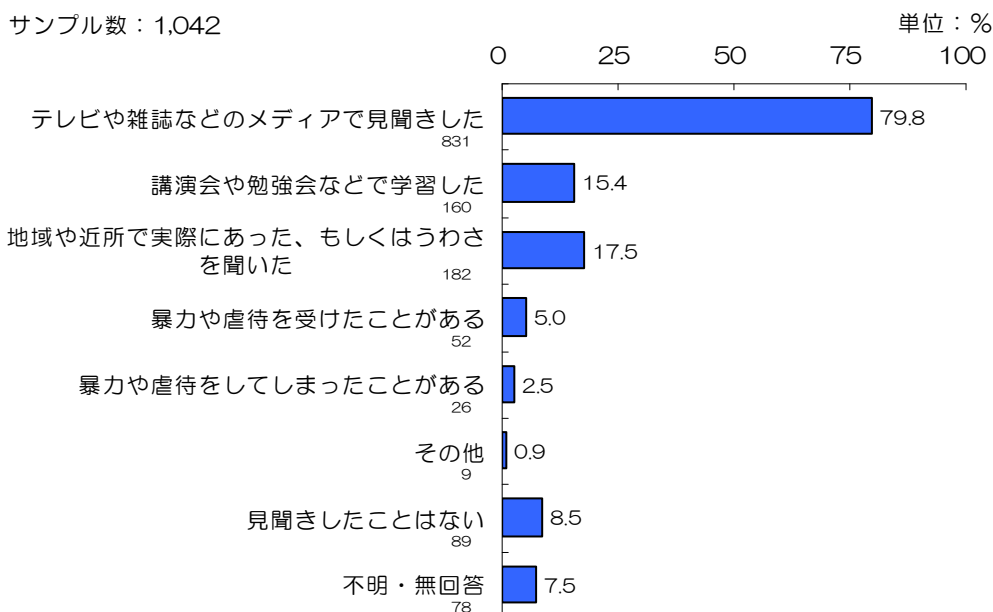
サンプル数：1,042

単位：%



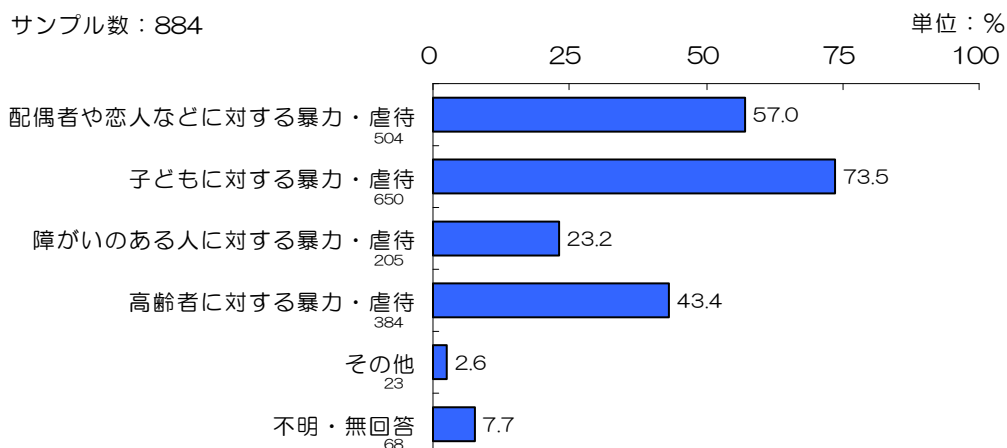
問7 あなたは今までに、高齢者・障がい者・配偶者・子どもなどに対する暴力や虐待の問題について体験したり、見聞きしたことはありますか。(〇はいくつでも)

暴力や虐待の問題について体験したり見聞きしたことをたずねたところ、「テレビや雑誌などのメディアで見聞きした」が79.8%で最も多くなっています。



問8 問7で見聞きしたことがあるのいずれかに〇をつけた方におうかがいします。誰に対する暴力や虐待の問題でしたか。(〇はいくつでも)

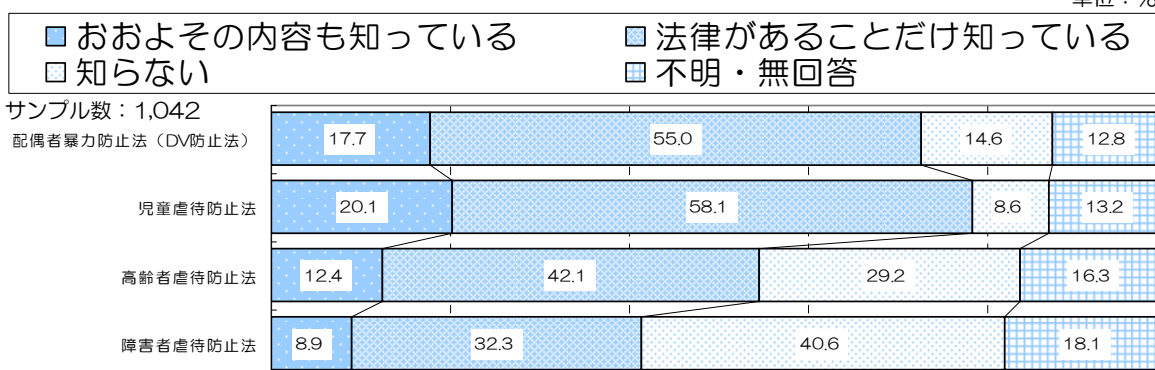
誰に対する暴力や虐待の問題かをたずねたところ、「子どもに対する暴力・虐待」が73.5%で最も多く、次いで、「配偶者や恋人などに対する暴力・虐待」が57.0%となっています。



問9 あなたは次の法律を知っていますか。(ア～エのそれぞれについて、○は1つずつ)

法律の認知度をたずねたところ、「児童虐待防止法」や「配偶者暴力防止法（DV防止法）」においては認知度が高くなっており、「高齢者虐待防止法」や「障害者虐待防止法」については、認知度が約1割と少なくなっています。

単位：%

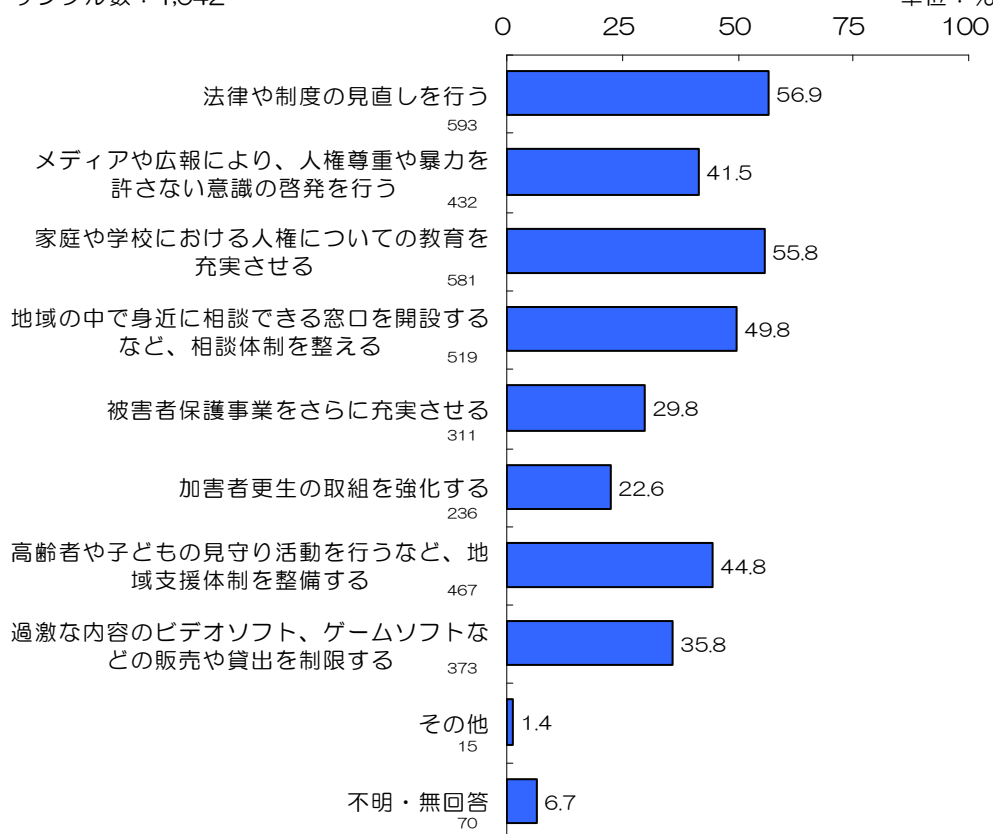


問10 あらゆる暴力や虐待の問題に対して、どのような取組が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

暴力や虐待の問題に対してどのような取組が必要かをたずねたところ、「法律や制度の見直しを行う」が56.9%で最も多くなっています。

サンプル数：1,042

単位：%



女性の人権問題について

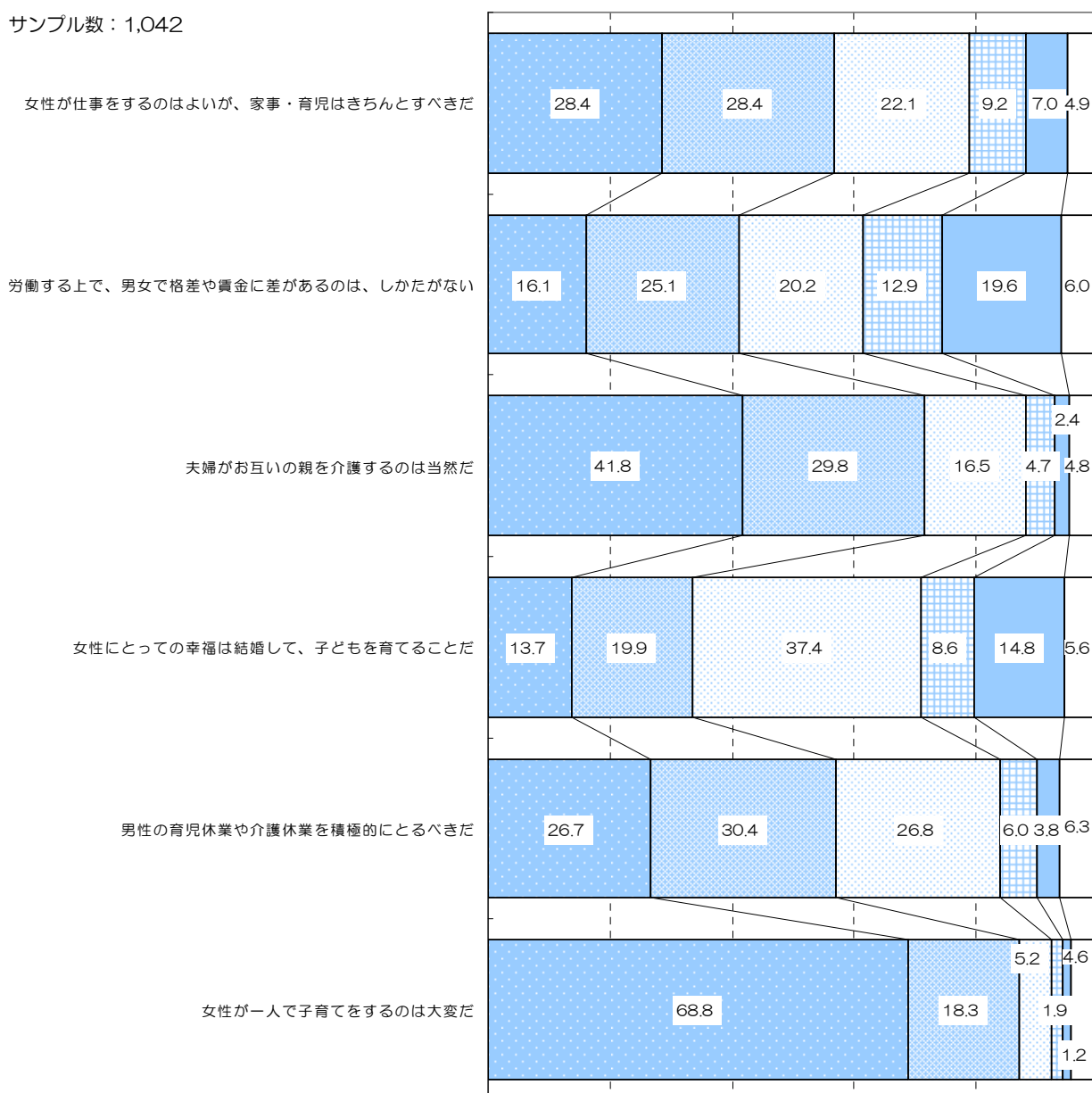
問 11 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。 (ア～カのそれぞれについて、○は1つずつ)

女性の人権問題についてたずねたところ、「女性が一人で子育てをするのは大変だ」、「夫婦がお互いの親を介護するのは当然だ」という考えが多くなっています。

単位：％

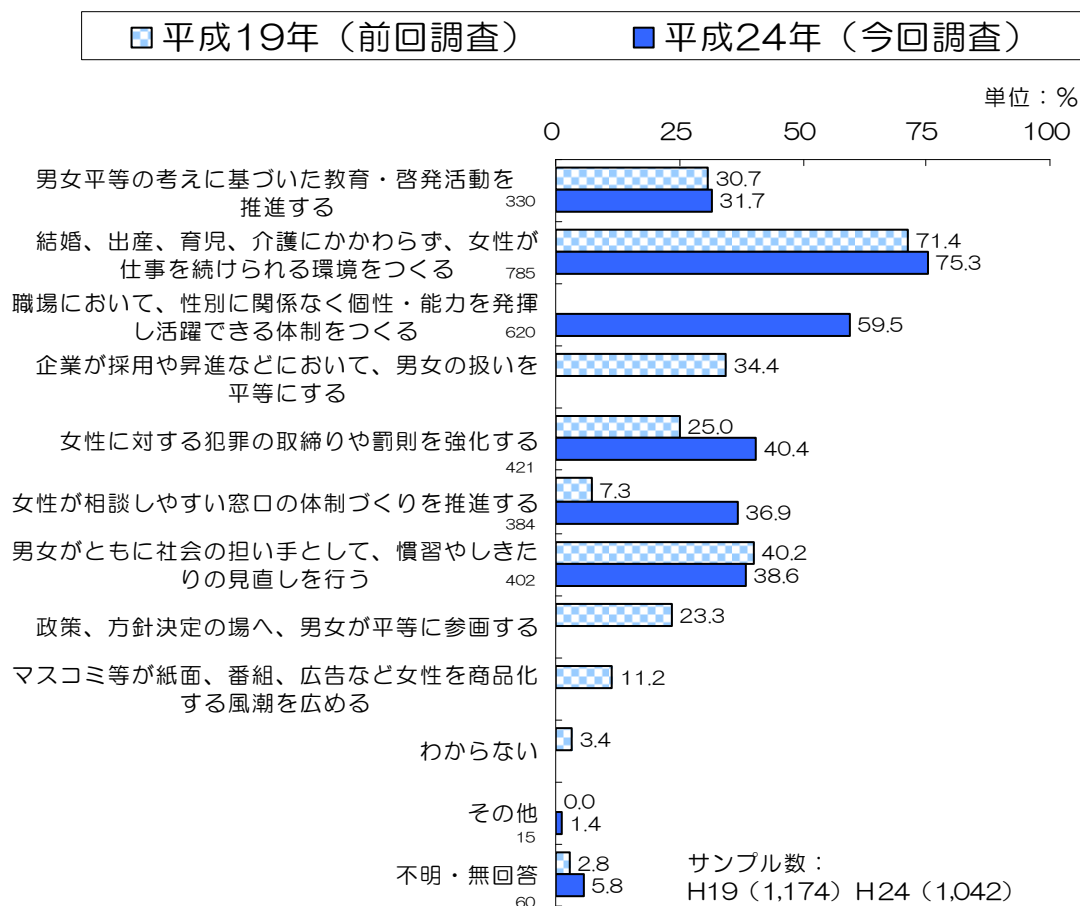
- | | |
|-------------|------------------|
| ■ そう思う | ■ どちらかといえばそう思う |
| ■ どちらともいえない | ■ どちらかといえばそう思わない |
| ■ そう思わない | □ 不明・無回答 |

サンプル数：1,042



問 12 あなたは、男女が社会のあらゆる分野で平等になるために、特に重要と思われるのは何ですか。(〇はいくつでも)

男女が平等になるために重要と思われるものをたずねたところ、「結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられる環境をつくる」が75.3%で最も多くなっています。



※H19（前回調査）には「職場において、性別に関係なく個性・能力を發揮し活躍できる体制をつくる」の設問なし、H24（今回調査）には「企業が採用や昇進などにおいて、男女の扱いを平等にする」、「政策、方針決定の場へ、男女が平等に参画する」、「マスコミ等が紙面、番組、広告など女性を商品化する風潮を広める」、「わからない」の設問なし

子どもの人権問題について

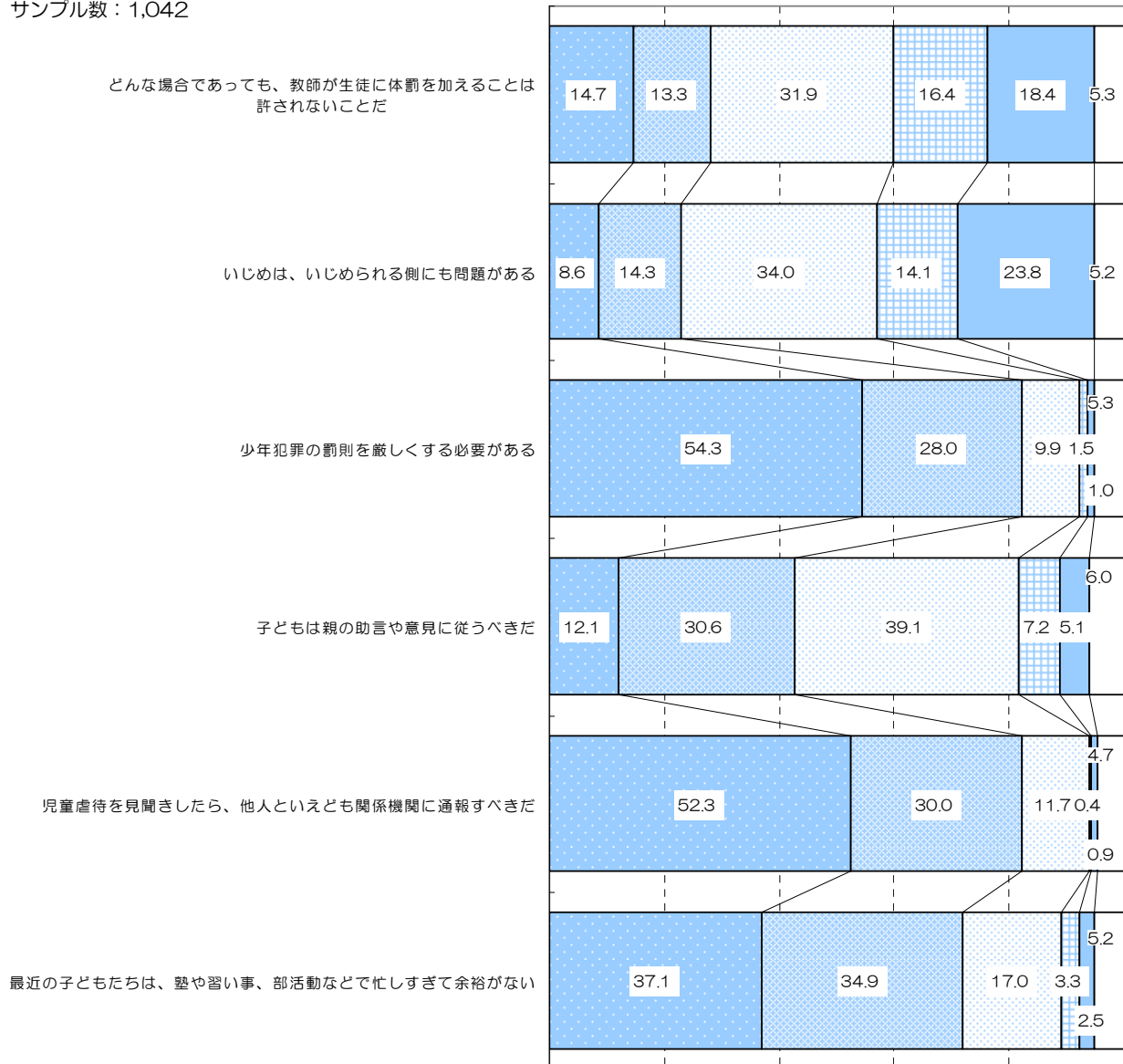
問 13 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。 (ア～カのそれぞれについて、○は1つずつ)

子どもの人権問題についてたずねたところ、「児童虐待を見聞きしたら、他人といえども関係機関に通報すべきだ」という考えが多くなっており、児童虐待を許さないという子どもの人権に対する強い意識がみられます。また、「少年犯罪の罰則を厳しくする必要がある」という法的整備への関心も高くなっています。

単位：%

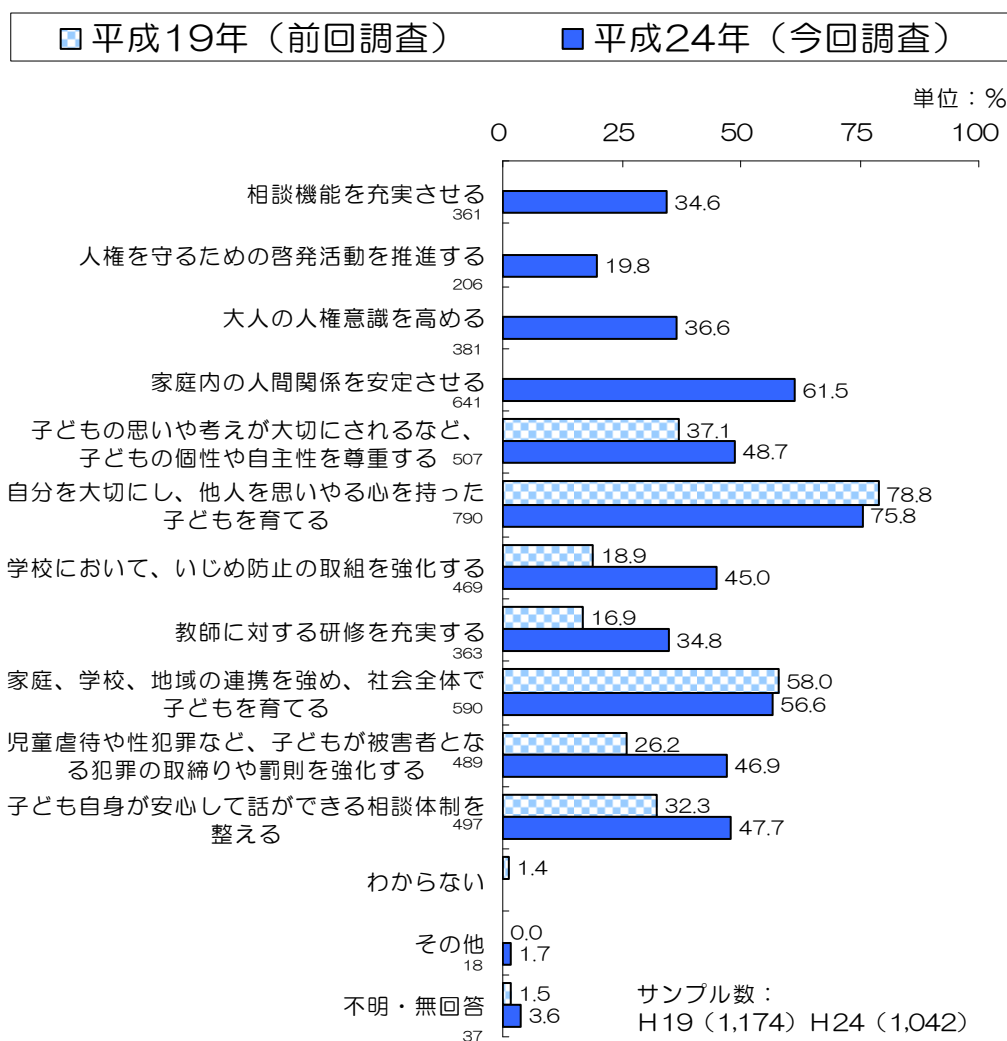
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- 不明・無回答

サンプル数：1,042



問 14 子どもの人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

子どもの人権が守られるために特に必要なことをたずねたところ、「自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」が75.8%で最も多くなっています。



※H19（前回調査）には「相談機能を充実させる」、「人権を守るための啓発活動を推進する」、「大人の人権意識を高める」、「家庭内の人間関係を安定させる」の設問なし、H24（今回調査）には「わからない」の設問なし

高齢者の人権問題について

問 15 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。 (ア～カのそれぞれについて、○は1つずつ)

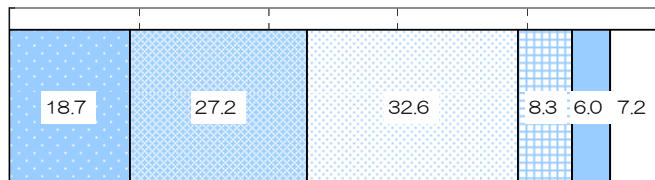
高齢者の人権問題についてたずねたところ、「近くに高齢者のみの世帯があれば、声をかけるなど配慮すべきだ」、「幅広い分野で、高齢者和其他の世代との交流を促進すべきだ」という考えが多くなっており、高齢者に対しては、地域における見守りや交流といった取組が大切であると考えられています。

単位：%

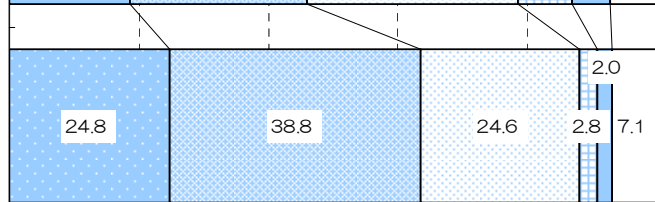
- | | |
|-------------|------------------|
| ■ そう思う | ■ どちらかといえばそう思う |
| ■ どちらともいえない | ■ どちらかといえばそう思わない |
| ■ そう思わない | □ 不明・無回答 |

サンプル数：1,042

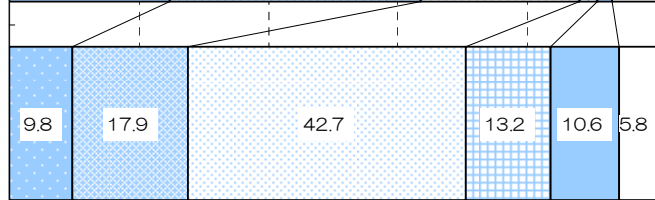
わたしたちの住んでいるまちや建物のつくりは高齢者に対する配慮に欠けている



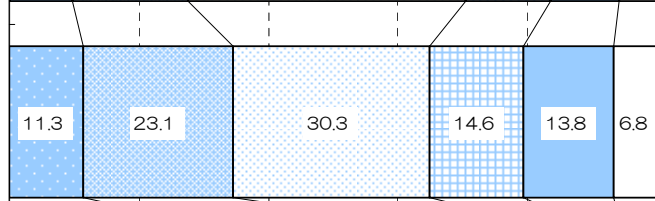
高齢者が社会参加できる場を増やすべきだ



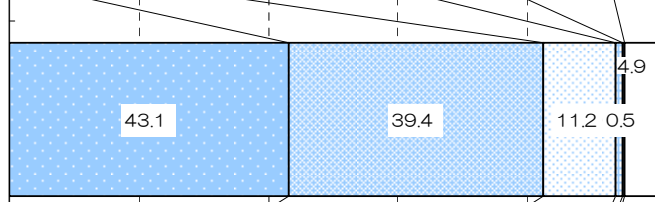
「老いては子に従う」べきだ



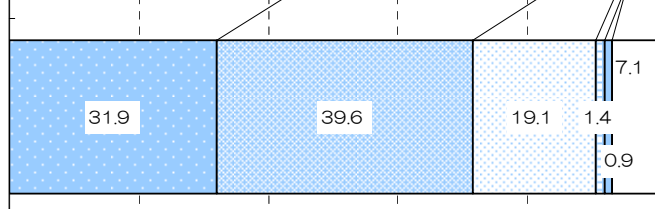
施設などに両親を入所させることに抵抗を感じる



近くに高齢者のみの世帯があれば、声をかけるなど配慮すべきだ

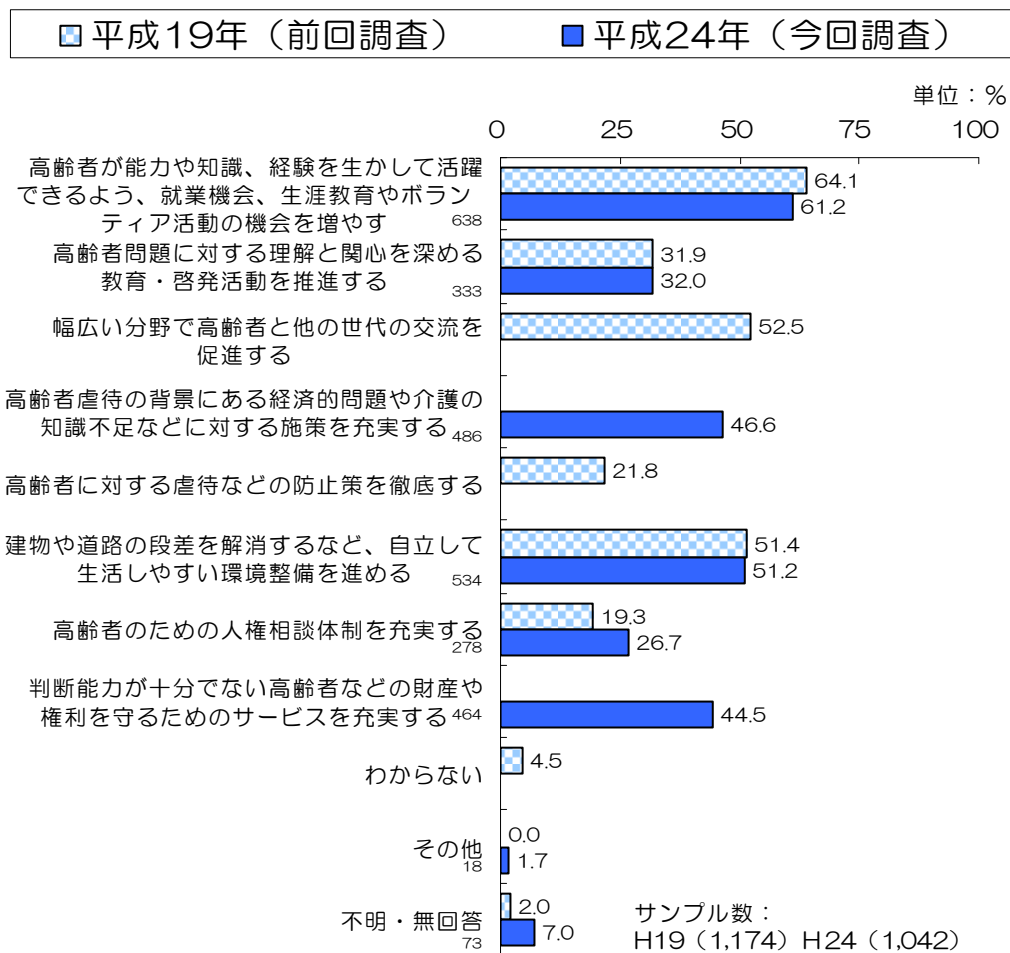


幅広い分野で、高齢者和其他の世代との交流を促進すべきだ



問 16 高齢者の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

高齢者の人権が守られるために特に必要なことをたずねたところ、「高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯教育やボランティア活動の機会を増やす」が61.2%で最も多くなっています。



※H19(前回調査)には「高齢者虐待の背景にある経済的問題や介護の知識不足などに対する施策を充実する」、「判断能力が十分でない高齢者などの財産や権利を守るためのサービスを充実する」の設問なし
H24(今回調査)には「幅広い分野で高齢者との世代の交流を促進する」、「高齢者に対する虐待などの防止策を徹底する」、「わからない」の設問なし

障がいのある人の人権問題について

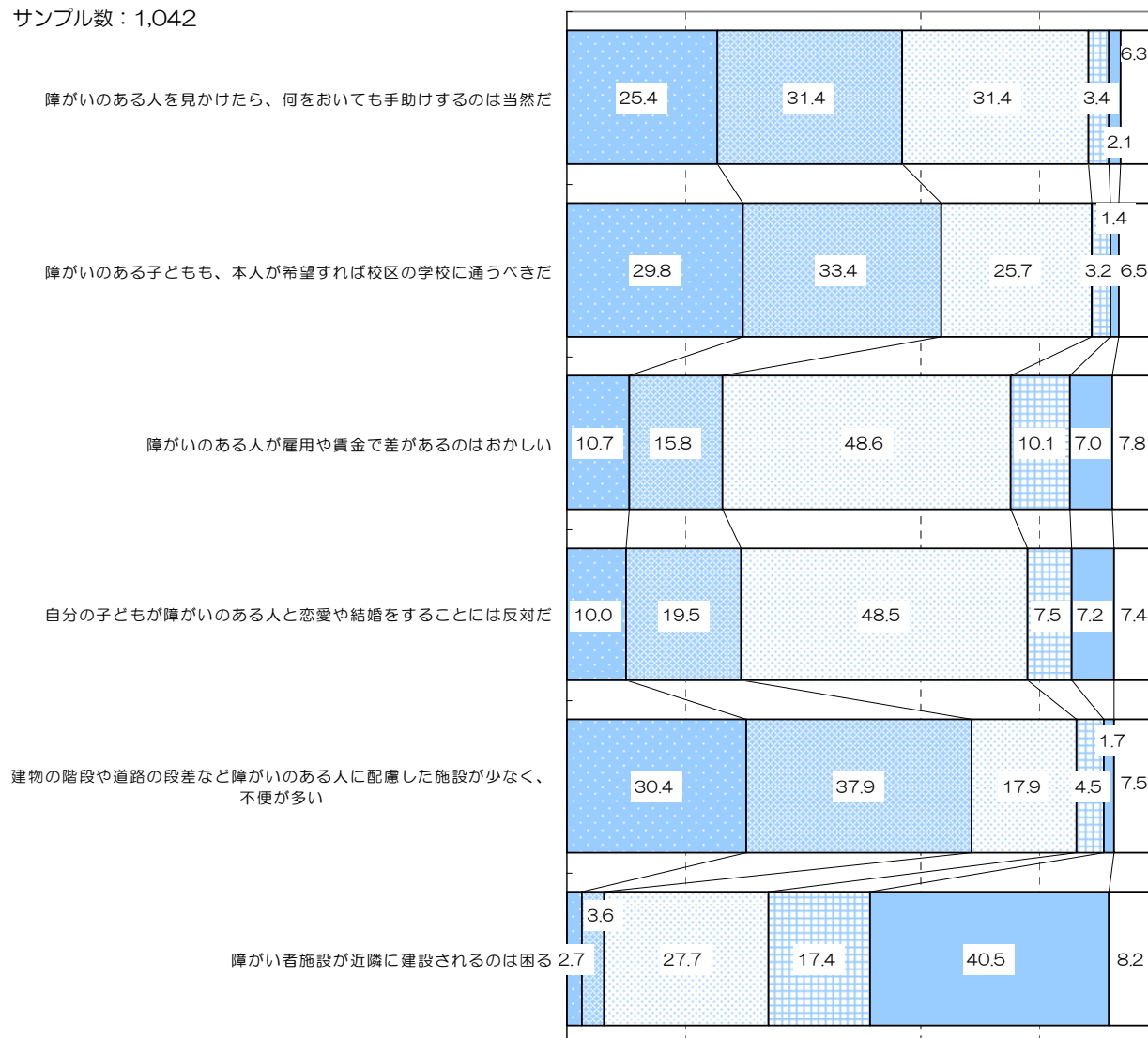
問 17 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。 (ア～カのそれぞれについて、○は1つずつ)

障がいのある人の人権問題についてたずねたところ、「建物の階段や道路の段差など障がいのある人に配慮した施設が少なく、不便が多い」、「障がいのある子どもも、本人が希望すれば校区の学校に通うべきだ」という考えが多くなっています。

単位：%

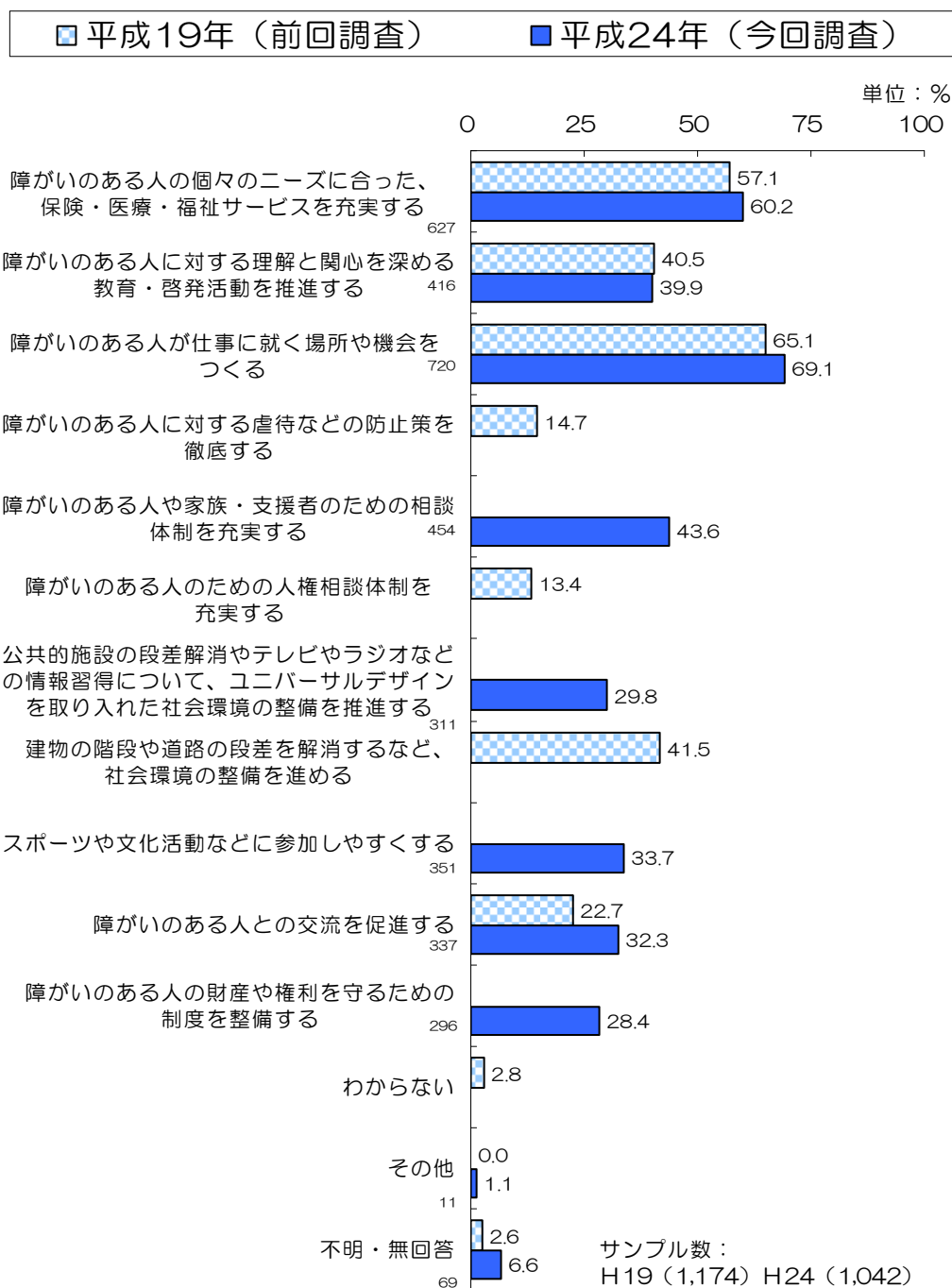
- | | |
|-------------|------------------|
| ■ そう思う | ■ どちらかといえばそう思う |
| □ どちらともいえない | ■ どちらかといえばそう思わない |
| ■ そう思わない | □ 不明・無回答 |

サンプル数：1,042



問 18 障がいのある人の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

障がいのある人の人権が守られるために必要なことをたずねたところ、「障がいのある人が仕事に就く場所や機会をつくる」が69.1%で最も多くなっています。

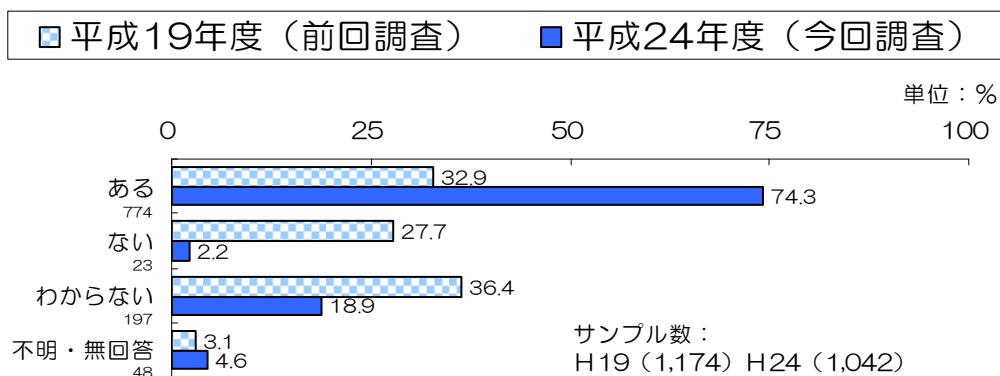


H19（前回調査）には「障がいのある人や家族・支援者のための相談体制を充実する」、「公共的施設の段差解消やテレビやラジオなどの情報習得について、ユニバーサルデザインを取り入れた社会環境の整備を推進する」、「スポーツや文化活動などに参加しやすくする」、「障がいのある人の財産や権利を守るための制度を整備する」の設問なし、H24（今回調査）には「障がいのある人に対する虐待などの防止策を徹底する」、「障がいのある人のための人権相談体制を充実する」、「建物の階段や道路の段差を解消するなど、社会環境の整備を進める」、「わからない」の設問なし

同和問題について

問 19 あなたは、宇和島市に同和地区と呼ばれている地域があると思いますか。(〇は1つだけ)

同和地区と呼ばれている地域があると思うかをたずねたところ、「ある」が74.3%で最も多く、次いで、「わからない」が18.9%となっています。

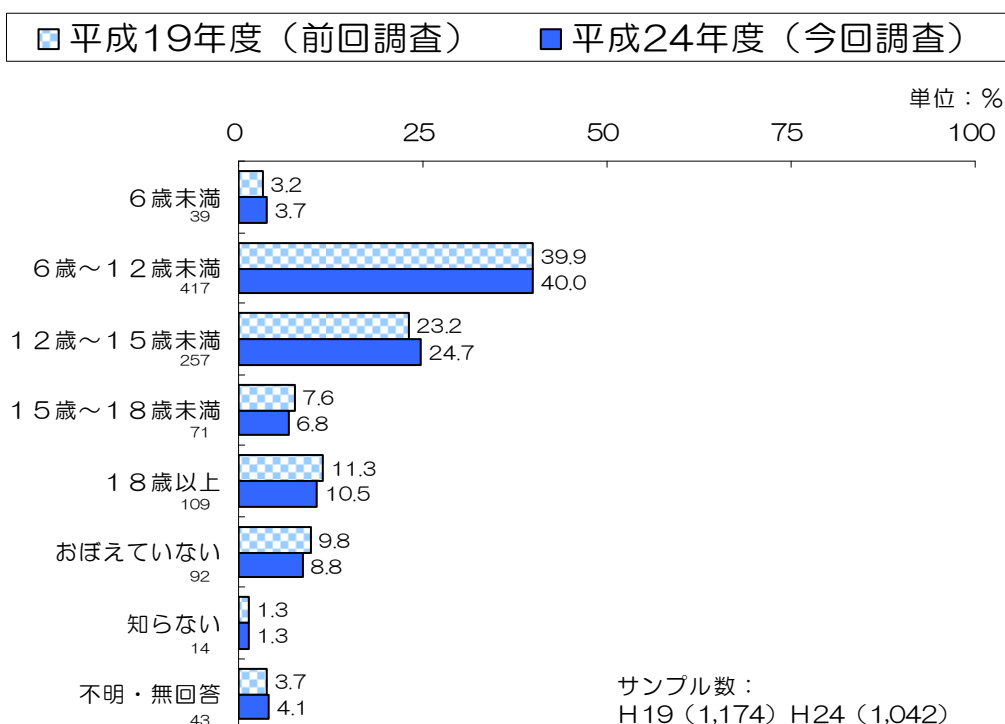


※前回調査時の設問

「あなたは、あなたの住んでいる地域(旧市町)に部落差別を受けている地区があると思いますか」

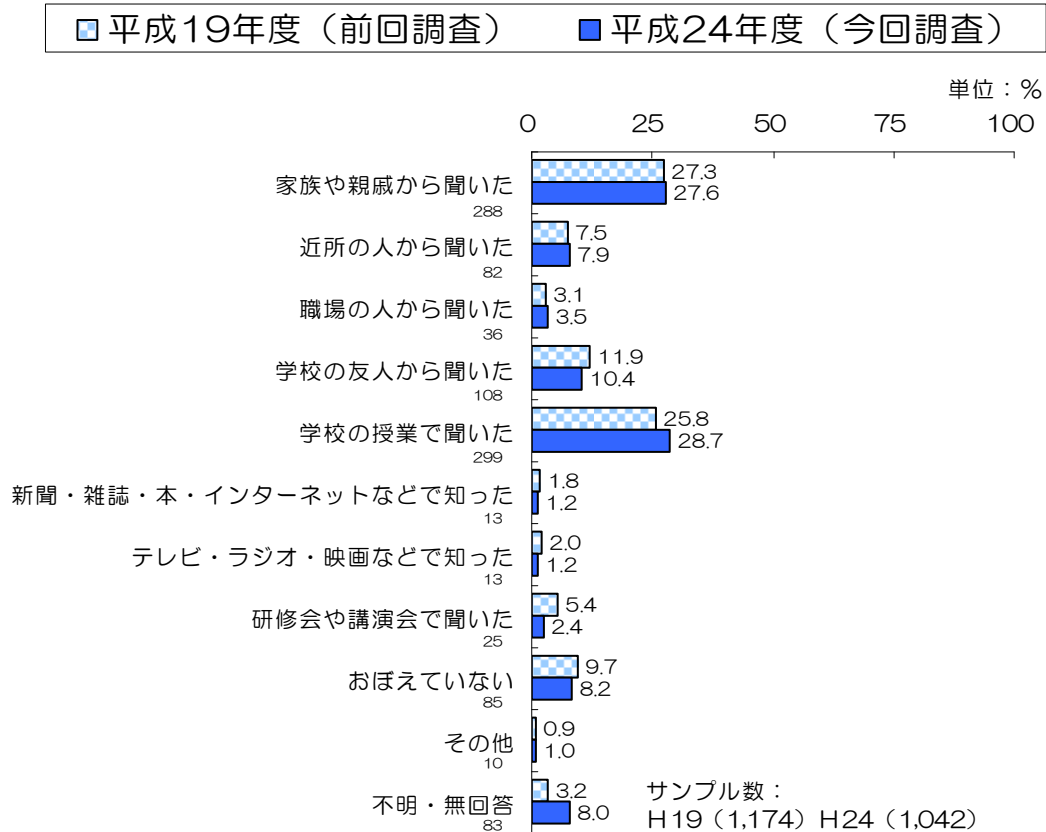
問 20 あなたは同和問題について、初めて知ったのはいつごろですか。(〇は1つだけ)

同和問題について初めて知ったのはいつごろかをたずねたところ、全体では、「6歳～12歳未満」が40.0%で最も多く、次いで、「12歳～15歳未満」が24.7%となっています。



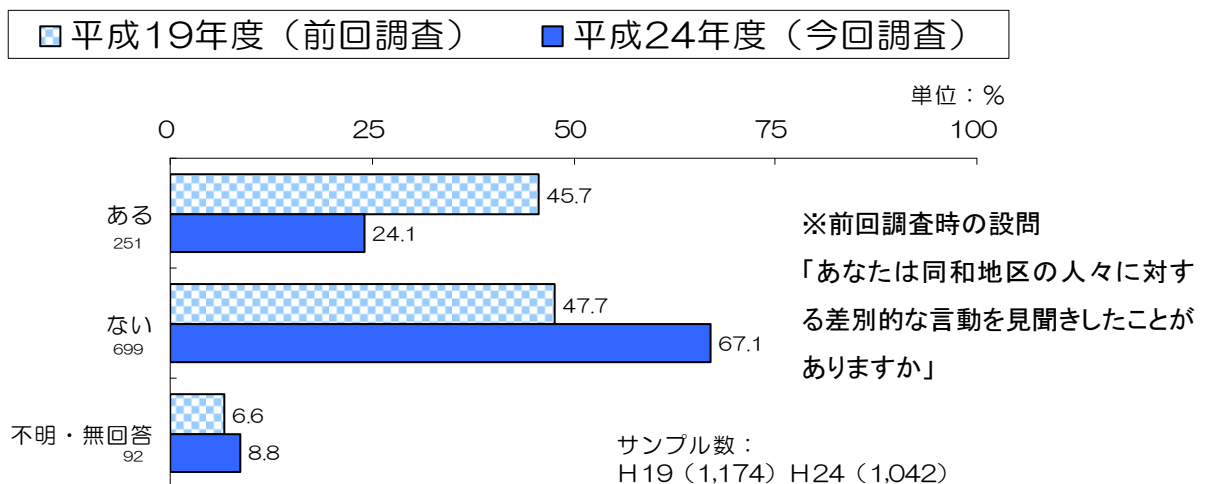
問 21 それはどのようにして知りましたか。(○は1つだけ)

同和問題はどのように知ったかをたずねたところ、「学校の授業で聞いた」が28.7%で最も多く、次いで、「家族や親戚から聞いた」が27.6%となっています。



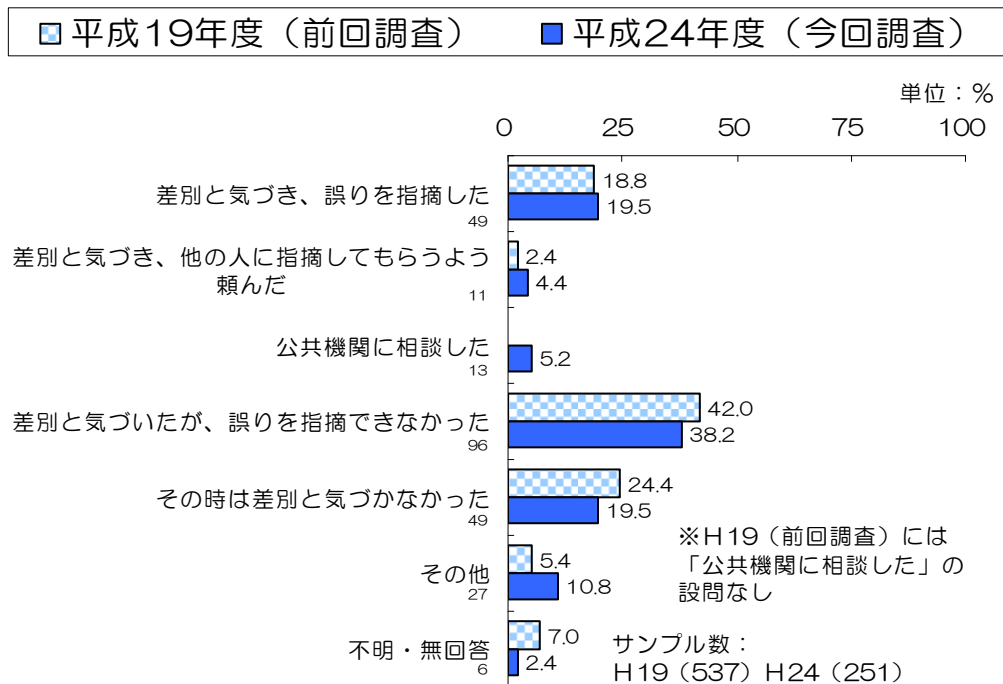
問 22 あなたは同和地区の人たちに対する差別発言や就職時や職場での不公平な扱い、身元調査、インターネットを利用した差別書き込みなど差別的な言動を見聞きしたことがありますか。(○は1つだけ)

差別的な言動を見聞きしたことがあるかをたずねたところ、「ない」が67.1%、「ある」が24.1%となっています。



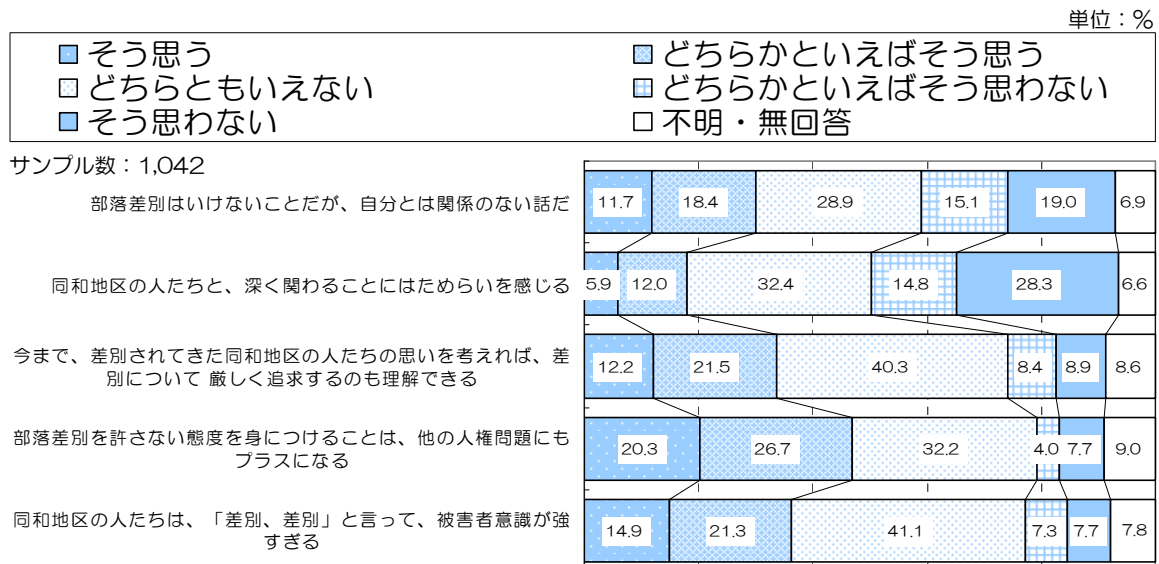
問 22-1 「1.ある」と答えた方にお聞きします。その時あなたは、 どうしましたか。(〇は1つだけ)

見聞きしたことがある方にその時の対処法をたずねたところ、「差別と気づいたが、誤りを指摘できなかった」が38.2%で最も多くなっています。



問 23 同和問題について、次のような意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(ア～オのそれぞれについて、〇は1つずつ)

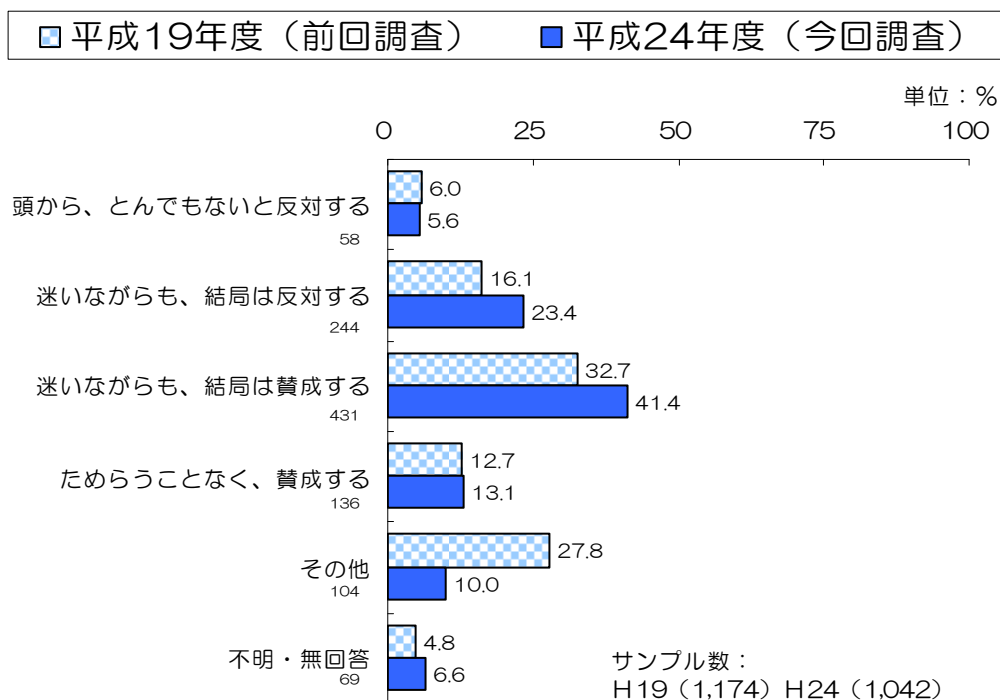
同和問題についてどのように思うかをたずねたところ、「部落差別を許さない態度を身につけることは、他の人権問題にもプラスになる」という考えが多くなっており、また、「同和地区の人たちと、深く関わることにためらいを感じる」という考えに反対する人が多くなっています。



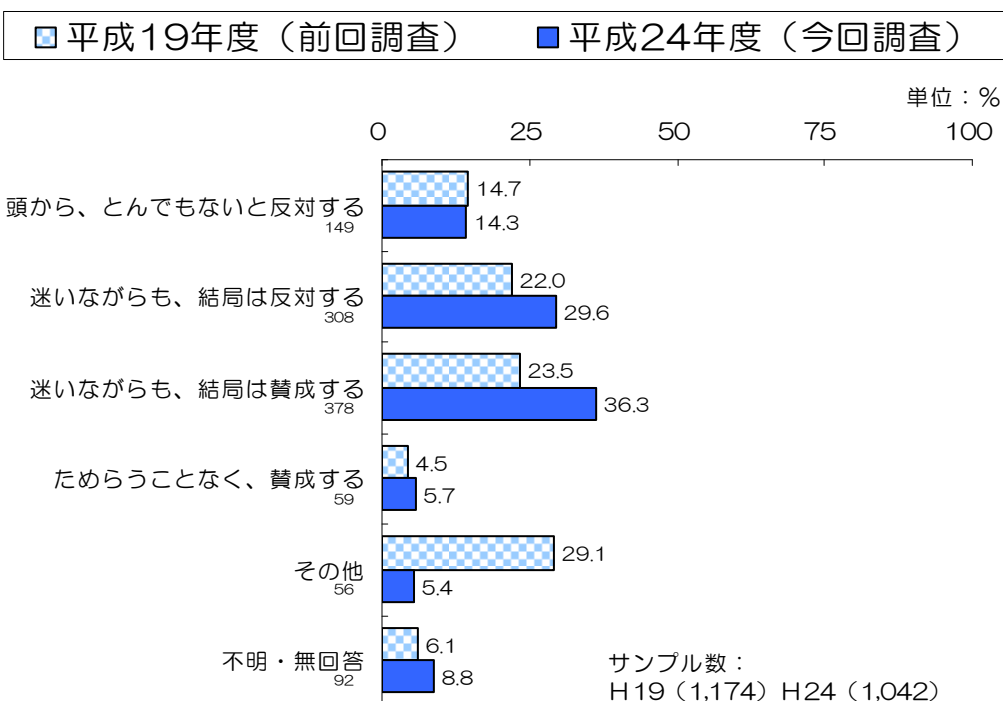
問 24 仮に、あなたのお子さん（お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください）の結婚しようとする相手が、同和地区出身だとわかった場合についてお聞きします。（ア、イのそれぞれについて、○は1つずつ）

子どもの結婚しようとする相手が同和地区出身だとわかった場合についてたずねたところ、親・身近な人ともに「迷いながらも、結局は賛成する」が最も多くなっています。

ア. あなたは親として、どのような態度をとると思いますか。



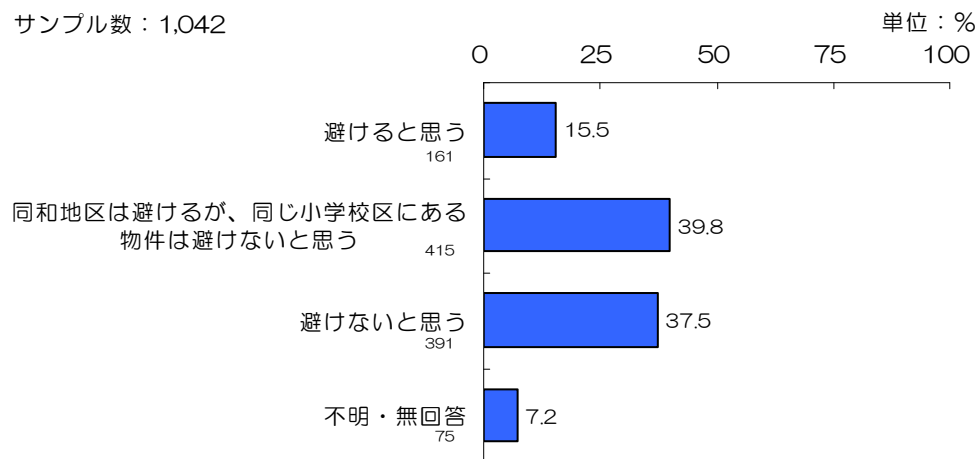
イ. あなたの身近な人は、どのような態度をとると思いますか。



問 25 もし、あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けることがありますか。(○は1つだけ)

同和地区や同じ小学校区にある物件は避けることがあると思うかをたずねたところ、「同和地区は避けるが、同じ小学校区にある物件は避けないと思う」が39.8%で最も多くなっています。

サンプル数：1,042



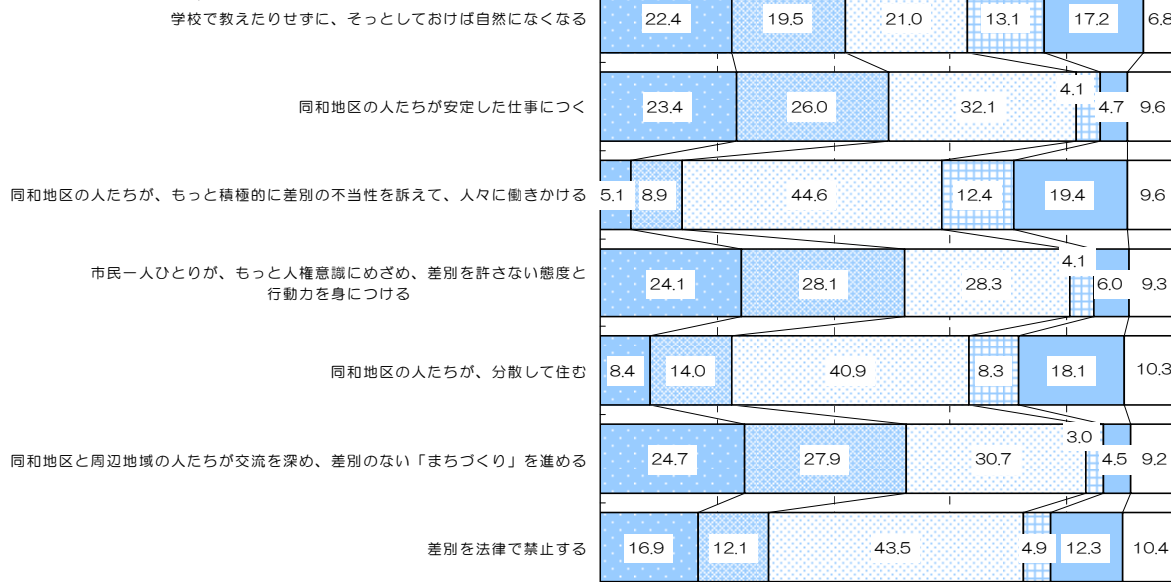
問 26 同和問題を解決するために、次のような意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(ア～キのそれぞれについて、○は1つずつ)

同和問題を解決するための意見についてどのように思うかをたずねたところ、「同和地区と周辺地域の人たちが交流を深め、差別のない「まちづくり」を進める」、「市民一人ひとりが、もっと人権意識にめざめ、差別を許さない態度と行動力を身につける」が多くなっています。

単位：%



サンプル数：1,042



外国人の人権問題について

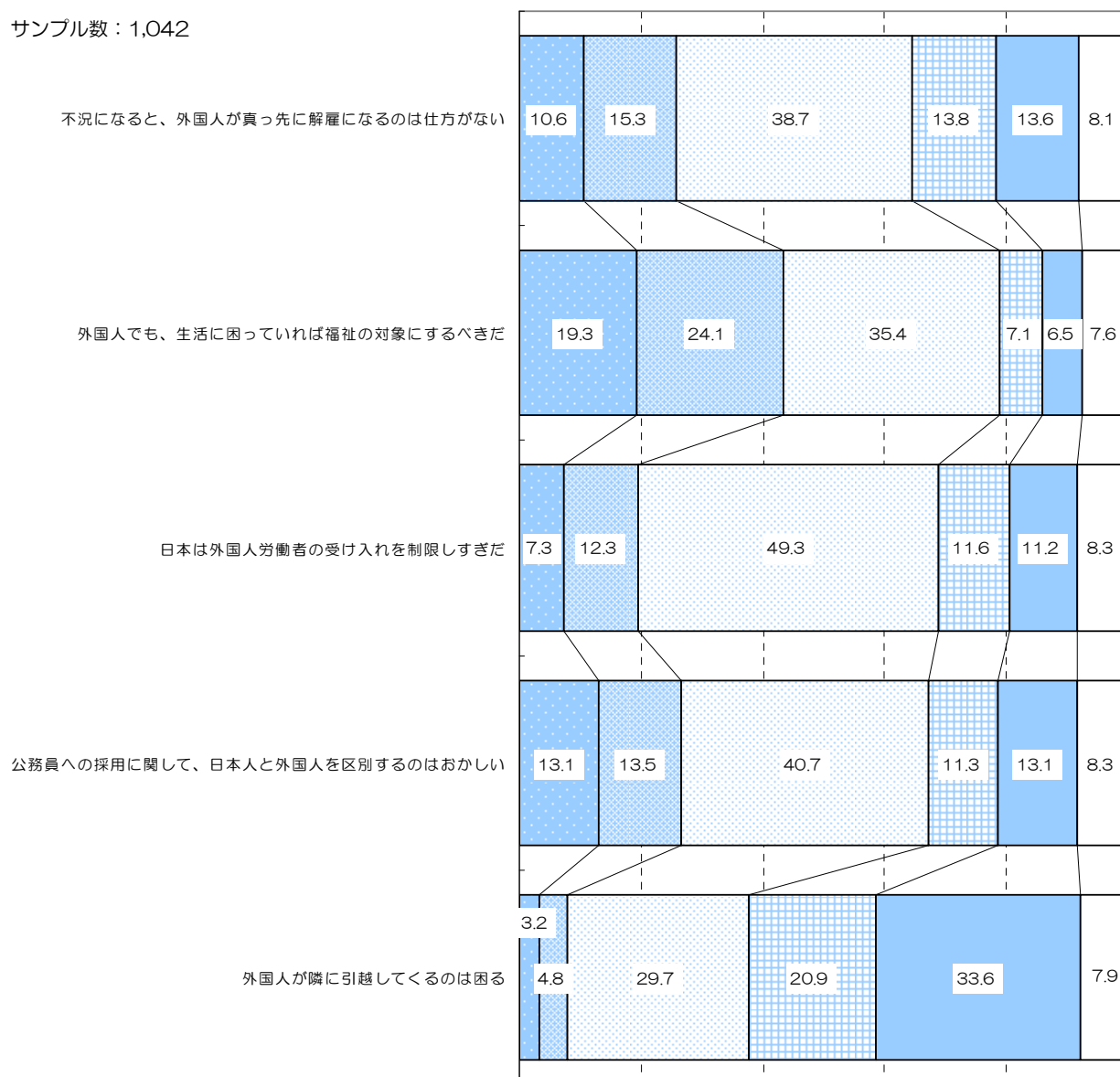
問 27 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。
 (ア～オのそれぞれについて、○は1つずつ)

外国人の人権問題についてどのように思うかをたずねたところ、「外国人でも、生活に困って
 いれば福祉の対象にするべきだ」、「公務員への採用に関して、日本人と外国人を区別するのはお
 かしい」という考えが多くなっています。

単位：%

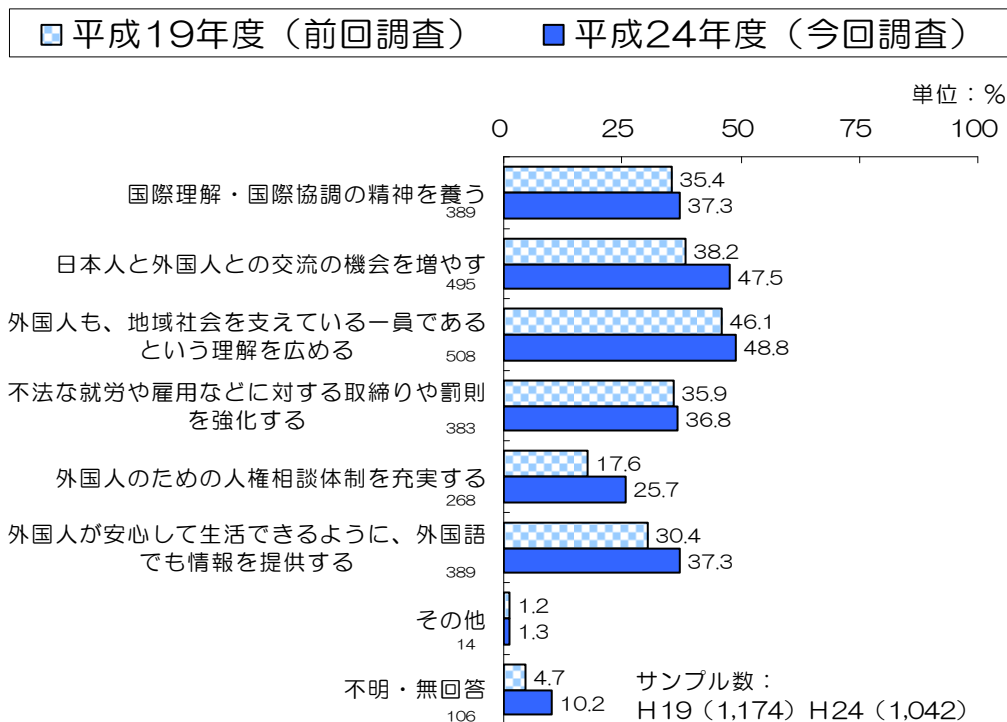
- | | |
|-------------|------------------|
| ■ そう思う | ■ どちらかといえばそう思う |
| ■ どちらともいえない | ■ どちらかといえばそう思わない |
| ■ そう思わない | □ 不明・無回答 |

サンプル数：1,042



問 28 外国人の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

外国人の人権が守られるために特に必要なことをたずねたところ、「外国人も、地域社会を支えている一員であるという理解を広める」が48.8%で最も多くなっています。



感染症患者など (HIV、ハンセン病など) の人権問題について

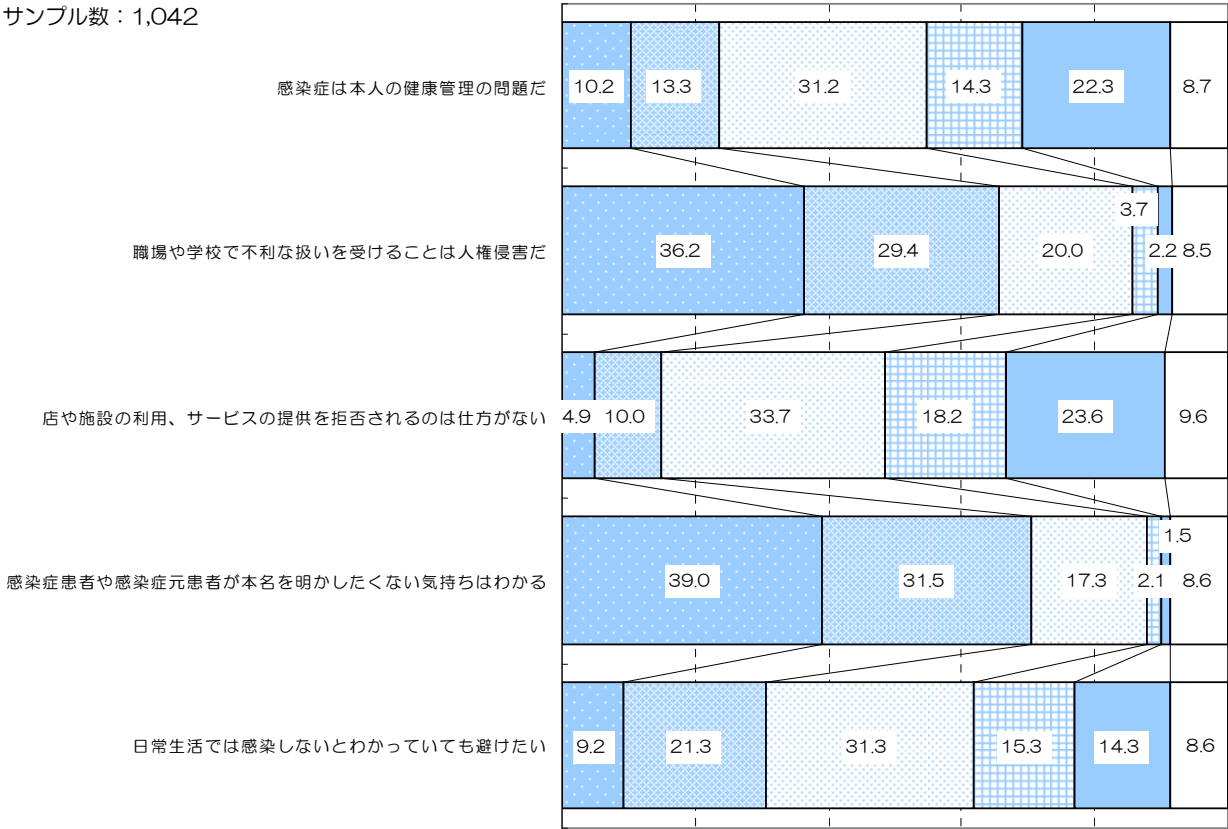
**問 29 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。
(ア～オのそれぞれについて、○は1つずつ)**

感染症患者などの人権問題についてたずねたところ、「感染症患者や感染症元患者が本名を明かしたくない気持ちはわかる」、「職場や学校で不利な扱いを受けることは人権侵害だ」という考えが多くなっており、感染症患者などの人権問題に対する意識が高くなっている一方で、医学的な誤解や偏見については「どちらともいえない」という回答が多くなっており、正しい知識に基づいた意識啓発が必要となっています。

単位：％

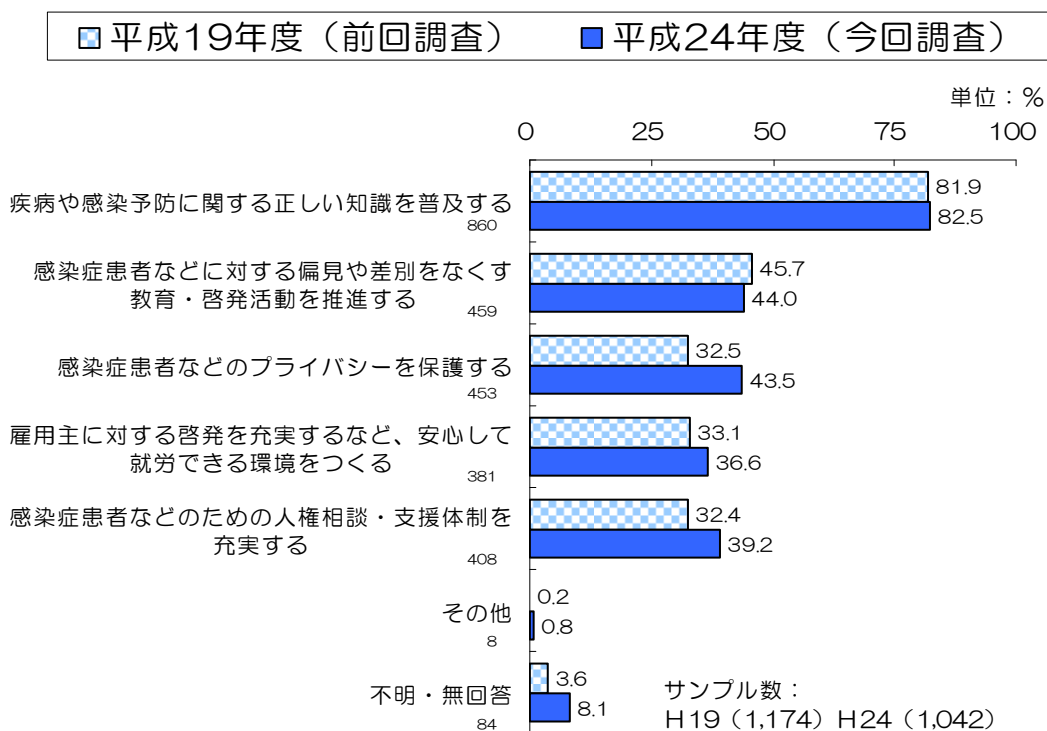
- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない | <ul style="list-style-type: none"> ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない □ 不明・無回答 |
|---|--|

サンプル数：1,042



問 30 感染症患者などの人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

感染症患者などの人権が守られるために特に必要なことをたずねたところ、「疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」が82.5%で最も多くなっています。



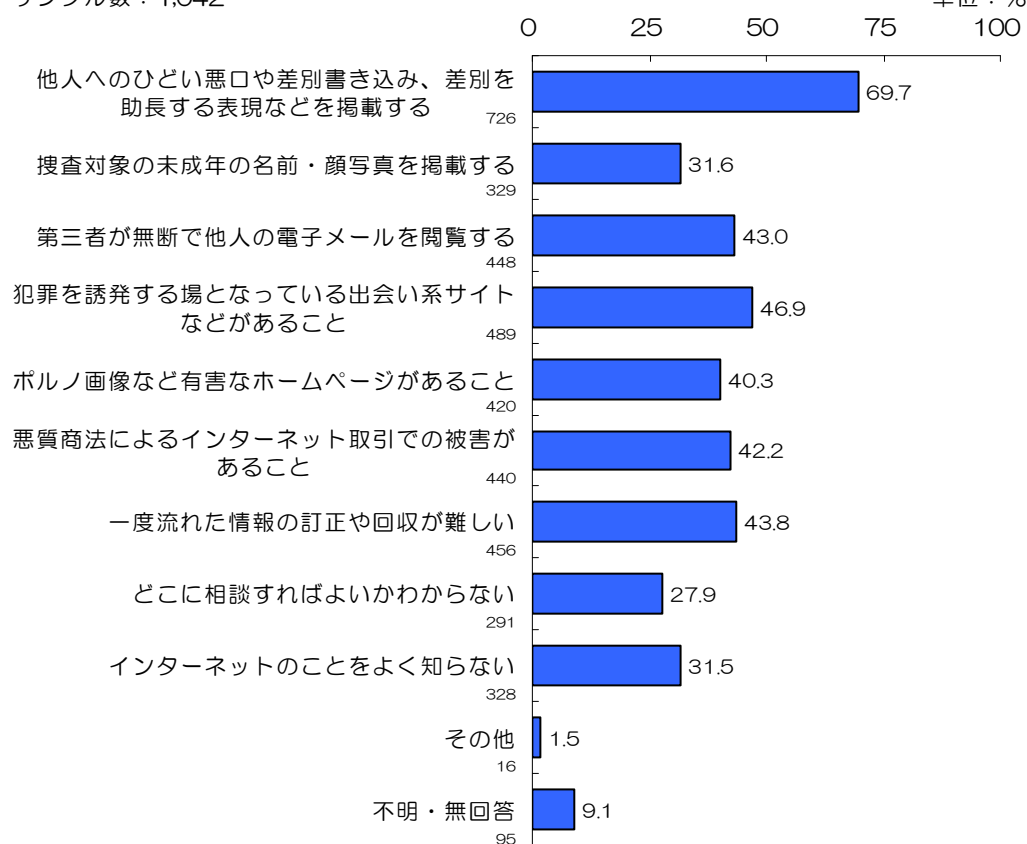
インターネット上の人権侵害について

問 31 インターネット上の人権問題について、あなたが問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

インターネット上の人権問題についてたずねたところ、「他人へのひどい悪口や差別書き込み、差別を助長する表現などを掲載する」が69.7%で最も多くなっています。

サンプル数：1,042

単位：%



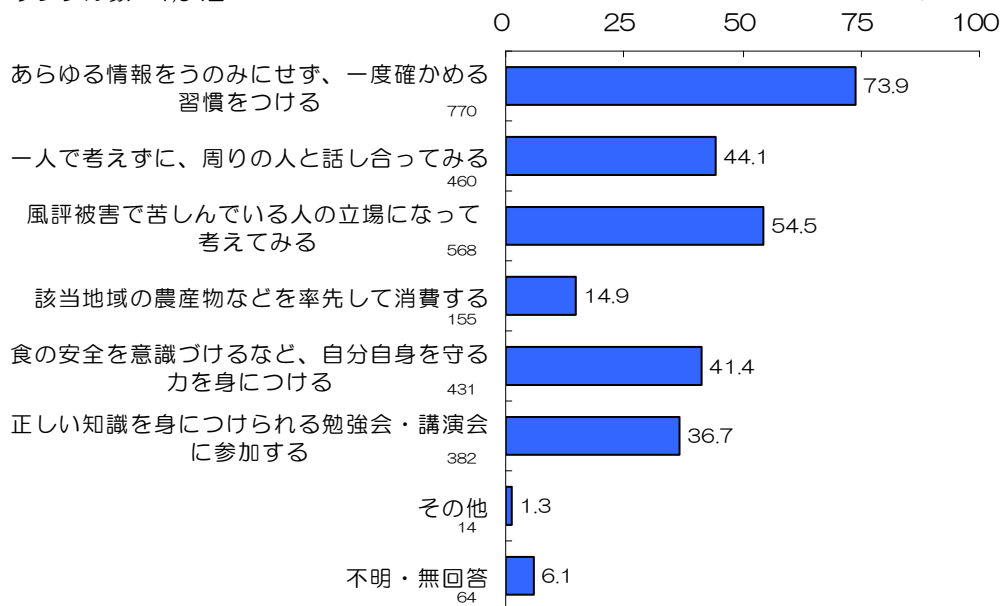
災害・事故などによる風評被害の人権問題について

問 32 災害や事故による風評やデマによる人権侵害について、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

風評やデマによる人権侵害についてどのような取組が必要かをたずねたところ、「あらゆる情報をうのみにせず、一度確かめる習慣をつける」が73.9%で最も多くなっています。

サンプル数：1,042

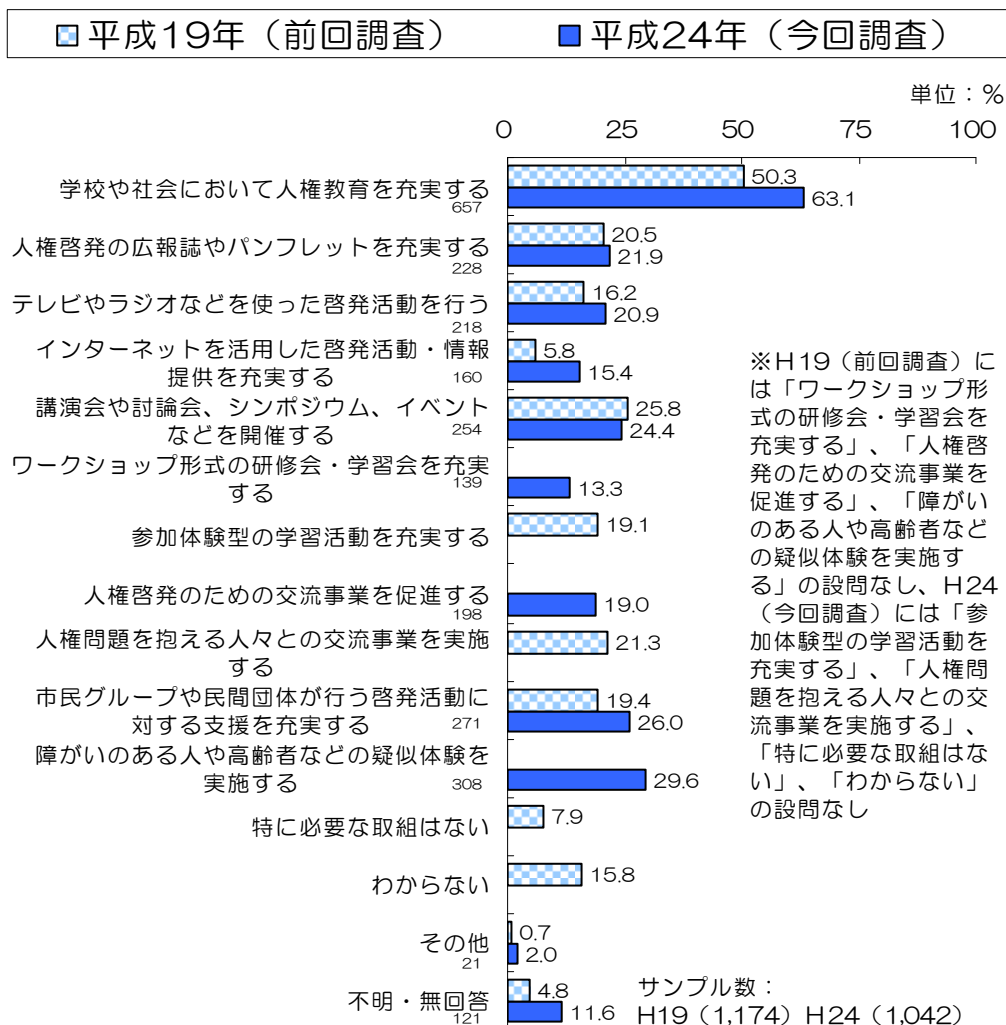
単位：%



宇和島市の人権教育・啓発について

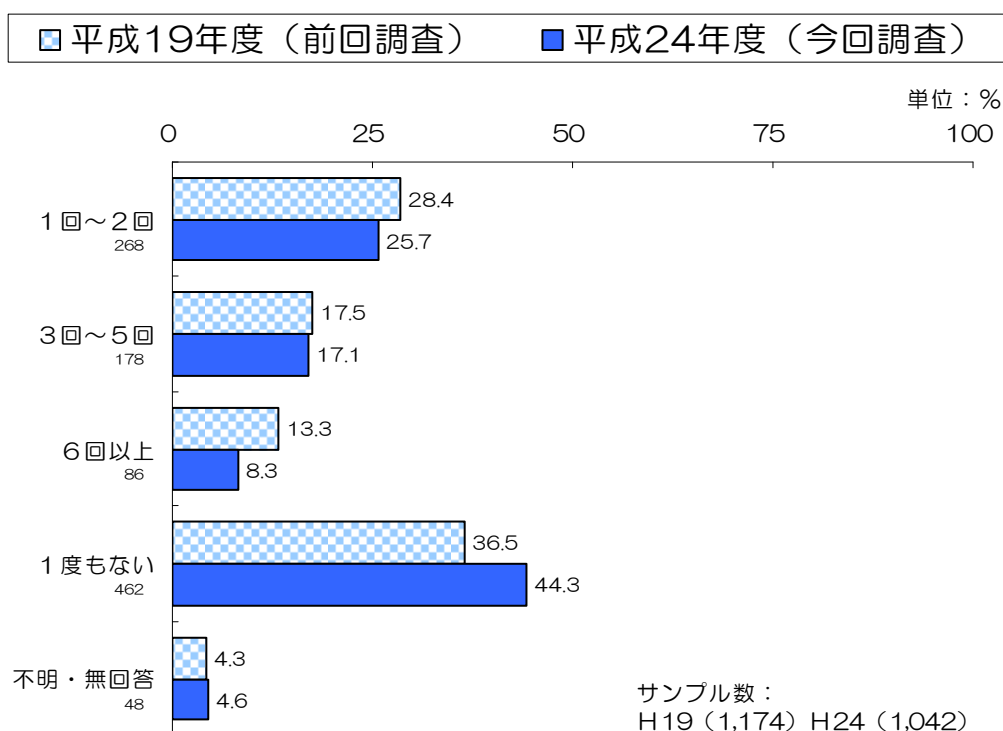
問 33 人権についての理解を深めるために、宇和島市としてどのような取組に力を入れる必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

人権についての理解を深めるためにどのような取組に力を入れる必要があると思うかをたずねたところ、「学校や社会において人権教育を充実する」が63.1%で最も多くなっています。



問 34 宇和島市では人権を尊重しあらゆる差別をなくすため、人権啓発活動や人権・同和教育を推進しています。あなたはこれまでに、このような講演会や研修会・学習会にどの程度参加したことがありますか。(○は1つだけ)

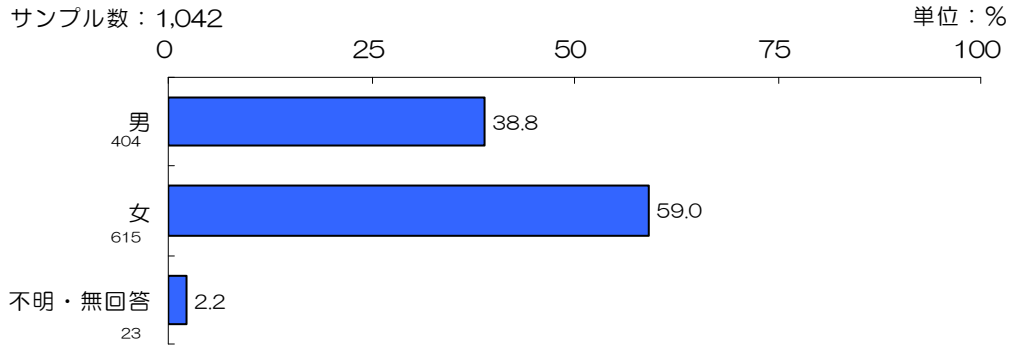
講演会や研修会・学習会にどの程度参加したことがあるかをたずねたところ、「1度もない」が44.3%、「1回～2回」が25.7%、「3回～5回」が17.1%となっています。



あなたご自身のことをお聞きします。

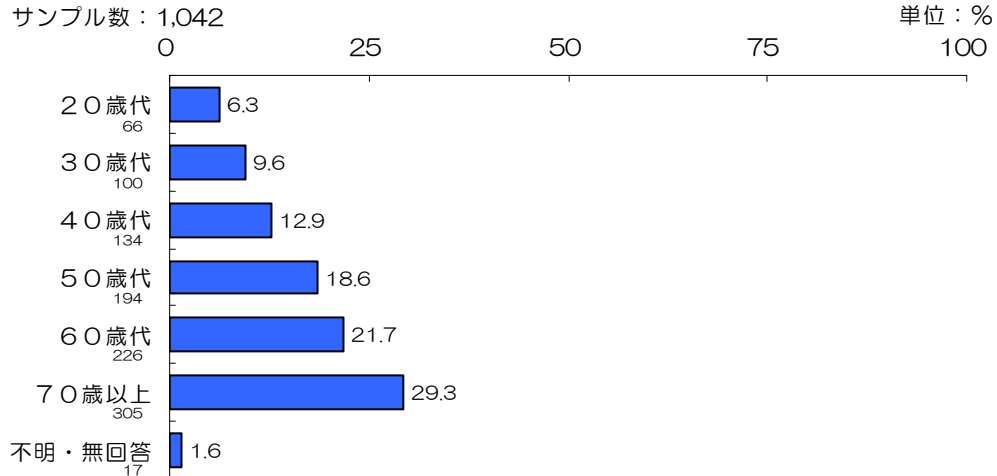
問 35 あなたの性別を選んでください。(○は1つだけ)

性別をたずねたところ、「女」が59.0%、「男」が38.8%で、「女」の方が多くなっています。



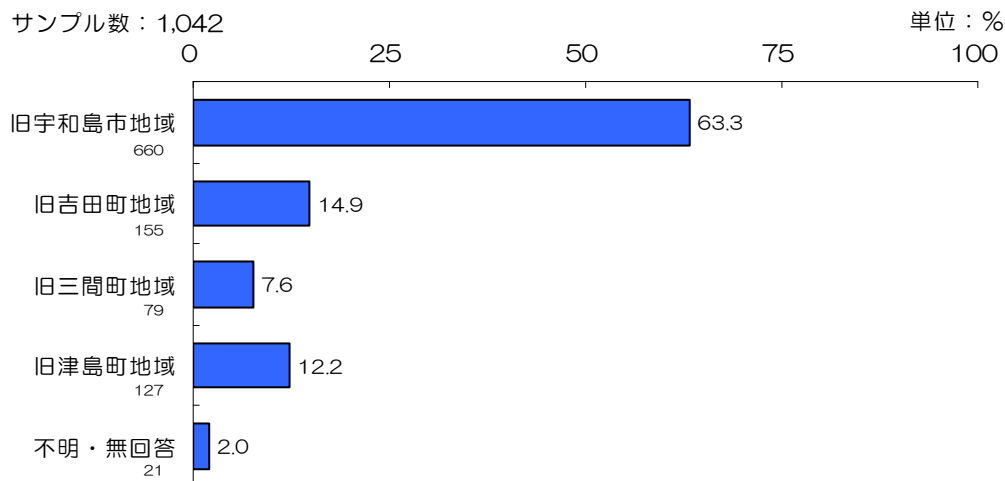
問 36 あなたの年齢を選んでください。(○は1つだけ)

年齢をたずねたところ、「70歳以上」が29.3%で最も多く、次いで、「60歳代」が21.7%、「50歳代」が18.6%となっています。



問 37 あなたのお住まいの地域を選んでください。(○は1つだけ)

居住地域についてたずねたところ、「旧宇和島市地域」が63.3%で最も多く、次いで、「旧吉田町地域」が14.9%、「旧津島町地域」が12.2%となっています。



問 38 あなたの職業を選んでください。(○は1つだけ)

職業についてたずねたところ、「無職」が29.3%で最も多く、次いで、「正社員・正職員などの常勤」が16.1%、「専業主婦・主夫」が15.8%となっています。

